

「御師」大研究中間報告

目 次

1. はじめに
2. 御師の歴史
3. 調査範囲
4. 結果
 - (1) 御師(師職)について
 - 1) 最後の御師は何人いて、どこに住んでいたか？
 - 2) 外宮の家格別御師数は？
 - 3) 外宮の御師各家の位階は？
 - 4) 外宮の御師は五位に叙された大夫であったか？
 - 5) 外宮の御師の職種は？
 - 6) 外宮の御師の位階と職種との関係は？
 - 7) 外宮の御師の家格と職務の序列は？
 - (2) 御師株について
 - 8) 外宮の御師株銘柄は幾つあったか？
 - 9) 外宮の御師株の保有形態は？
 - 10) 外宮の1御師株の株主数は？
 - 11) 外宮の御師家格ごとの御師株保有数は？
 - 12) 外宮の御師の家格内訳は？
 - 13) 外宮の御師の家格別の保有銘柄数内訳は？
5. 参考
 - 1) 付表: 各家保有株銘柄及び祓銘一覧
 - 2) 付表: 師職(御師)株名と株主数、持ち株形態、株主の家格一覧
 - 3) 参考: 伊勢神宮125社
 - 4) 付録: 御師のおもてなし

1. はじめに

伊勢の歴史に興味を持った時に欠かせないのが「御師」ではないだろうか？

御師は「御祈祷(いのり)師」あるいは「御師匠」に由来すると言われ、他の有力社寺に置かれたものを「オシ」と呼ぶのに対し、伊勢では「オンシ」と呼ぶのが通例である。また御師が「大夫」を称するのは、権禰宜になると五位の位＝大夫を授かったことに由来する。

仕事は、私幣(自分のために祈ること)禁断の伊勢神宮へ私幣するために祈祷する祈祷師であり、現在で言う神宮への旅行業者を兼ねていた。全国の檀家を廻ってお札や伊勢暦などを配って参宮の勧誘をしたり、神宮を訪れる伊勢講の人々のために祈祷を行い、宿泊や観光も含む神宮の案内の世話をしていた。

この『御師』を調べているうちに、御師の実態はどういうものか、いろいろな疑問に突き当たったが、それに対する種々の調査結果が出ているけれども、時系列的に整理されていない記述が多く、知りたいことが出ていない、諸説ありどれが本当か分からなくなった、などの理由で、それぞれの調査資料の原本の一つであろう、昭和57年発行皇學館大學史料編纂所編「神宮御師資料」外宮編一～三と六に収録されている山田地区の明治12年7月調「旧師職現員調書」等のデータデース化に取り組み分析を行って、明治4年に廃止された時点の「御師の最後の姿」を明確にして、数々の疑問点を明らかにしてみたいと試みたので、その結果を報告する。

一般的に「御師」というが、同書では「御師」の職という意味で「師職」と呼称している。

何しろこれらの明治12年7月調「調書」のみの「にわか研究」ですので間違いや珍説があると思われます。ご指摘ご指導いただければ幸いです。

なお、今回の資料は Excel にて集計しています。必要な方にはその Excel データを差し上げますので、お申し出ください。

〒259-1206 神奈川県平塚市真田 3-10-18

秋 田 耕 司

koji.akita@nifty.com

2013.10 吉日

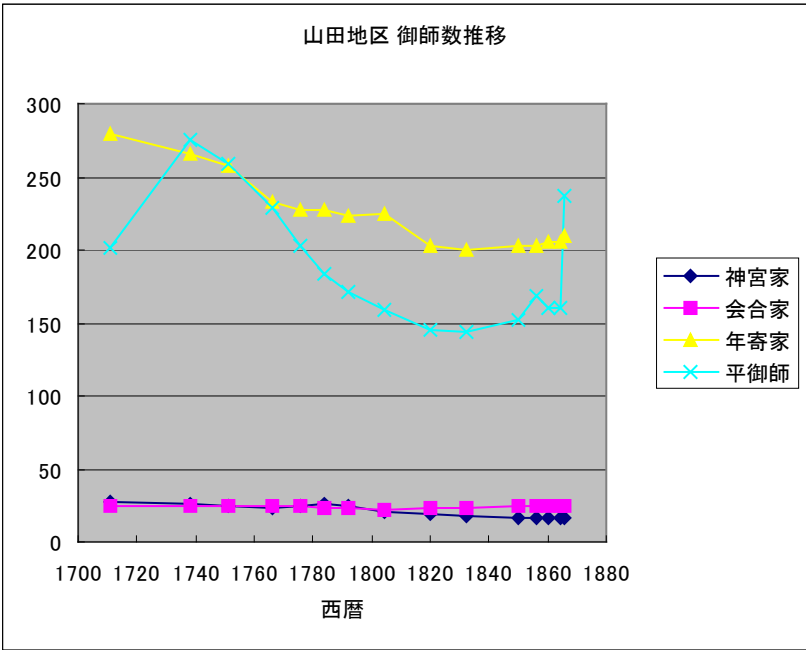
2. 御師の歴史

平安時代後半	(伊勢)神宮は本来、私幣禁断、つまり天皇以外の人々が私のために祈ることが禁止されていたが、私の祈祷を受付け一部の下級神職(御師)が存在していたようだ。
鎌倉時代	武士階級に関わる御師が現れ、伊勢信仰が広まった。
室町～安土桃山時代	御師が関わり、将軍や戦国大名が度々、伊勢参宮を行う
江戸時代	将軍をはじめ多くの大名や貴族も御師の檀家となり、庶民の伊勢参宮も盛んになった。この頃になると御師は神職に限らず、経済人が御師株を入手して御師になった者もいた。宇治に304家、山田に615家の御師があったという。
1868 慶応 4年3月	明治新政府は「太政官(明治政府初期に設置された最高官庁)布達」で祭政一致し神祇官を再興すると述べる。(通称、神仏分離令)
明治元年	山田奉行、宇治と山田三方会合廃止 度会府設置(府知事 橋本実梁)
1869 明治 2年	第55回式年遷宮 明治天皇神宮に初参拝 廃仏運動推進 度会県と改称
1870 明治 3年1月	「大教宣布」により天皇に神格を与え神道を国教と定めて日本を祭政一致の国家とする方針が示され、「私幣禁断」が再確認された。
1871 明治 4年7月	度会県の県庁を山田に置く 山田羽書(度会府札)廃止 式年遷宮宇治橋渡初式 神宮制度大改革 御師制廃止が廃止された。郷社定則発布 神社所領地の国有化、神職の世襲、叙爵を止めて士・民籍に編入、稟給制を定め、また師職の檀家への大麻の配布を禁止。 注)大麻(おおぬさ)とは御祓・御祓大麻ともいい伊勢神宮から頂く御神体であり、各神社から頂く御神体は御札という。 廃止直前の御師数<山田>480<宇治>190と云われるが、権益を失った御師は料理屋、貸席業、旅館業、手工業、古道具屋などに転業した者もいたが、次第に多くが衰退していったようだ。
1872 明治 5年7月	鳥羽城取壊し。鳥羽県廃し度会県に統合。太陽暦となる。古市妓楼 32 件に減少。 明治天皇行幸二軒茶屋より上陸、のち記念碑建立。 神宮で直接、御祓大麻を作る。 日本で初めての本格的な戸籍制度(壬申戸籍じんしんこせき)が開始された。
1873 明治 6年	内宮に時雍館(説教所＝祈祷所)開講。
1875 明治 8年	外宮祈祷所が設けられる。 度会県から御師の配札収入、止宿料、神楽料などの『調書』とともに扶助嘆願されたが、救済は充分ではなかった。
1878 明治 11年	内務省で編暦した神宮暦を頒布するようになり、御師の活動を神宮が引き継いでいった。
1879 明治 12年6月	帳簿記載665戸から403戸が選定され一律の扶助金が出賜されたが、その後の救済はなかった。
1879 明治 12年7月	明治12年7月付「旧師職現員調書～総人名其他取調帳」 …明治8年提出の『調書』とは異なるか？
1882 明治 15年	太政官布達にて暦は神宮のみ頒布できるとした。
1886 明治 19	住所が屋敷番から地番に変更された。
その後～昭和	大麻配札の禁止以外は厳密に禁じられていなかったために、御師と檀家の関係は昭和後半まで続いた場合もあったようだ。

主に、平成15年発行 伊勢市立郷土資料館第13回特別展図録「伊勢の町と御師～伊勢参宮を支えた力～」を参照したが、特に上述の御師数は同書による。

実数の確度は不明だが参考までに、同書 P.2 よりデータの多い山田地区の御師数の推移グラフを作成した。参照されたい。山田地区の年寄家には司家役人、三方役人を含む。

御師数の推移



西暦年号	宇治					山田				
	神宮家	会合家	末家	平師職	合計	神宮家	三方家	年寄家	平師職	合計
1594 文禄 03										177
1677 延宝 05										400
1684 貞享元										445
1711 正徳元						27	24	279	201	531
1724 享保 09										615
1738 元文 03						26	24	266	276	592
1743 寛保 03	不明	54	21	156	>231					
1751 宝暦元						24	24	258	259	565
1766 明和 03						23	24	233	229	509
1776 安永 05						25	24	227	203	479
1777 安永 06	26	41	12	192	271					
1784 天明 04						26	23	227	184	460
1792 寛政 04						24	23	223	171	441
1804 文化元						21	22	224	159	426
1820 文政 03						19	23	203	145	390
1832 天保 03						18	23	200	144	385
1850 嘉永 03						17	24	203	152	396
1856 安政 03						17	24	203	168	412
1860 万延元						17	24	205	160	406
1864 元治元						16	24	205	160	405
1866 慶應 02	30	33	12	99	174					
1866 明治 03						17	24	209	237	487

宇治分の神宮家には物忌家、平師職分には慶光院家来を含む

明治3年には平師職数が急増しているが扶助申請の為だろうか？

3. 調査範囲

最大の疑問点である 1. 御師は何人いて、どこに住んでいたか？ を調査するには(伊勢)神宮に所属？(実際は宇治会合、山田三方が御師を所管していたと思われるが?)している御師の住所を特定する必要があるが、その頃の宇治・山田地区の町名は明確ではない。

伊勢市史近代編によると、明治22年市制町村制の導入され「宇治山田町」となった時の構成町名は以下の30町であった。

宇治地区	8町	館好町、今在家町、中ノ切町、浦田町、桜木町、中之町、古市町、久世戸町
山田地区	22町	尾上町、倭町、岡本町、岩渕町、豊川町、田中中世古町、宮後町、一志久保町、八日市場町、下中之郷町、常磐町、浦口町、二俣町、辻久留町、中島町、宮川町、吹上町、一之木町、大世古町、曾祢町、河崎町、船江町

しかし、明治33年製図「神都実測図」によるとこれらの町名以外に、小川町、茶屋町、神社町、(一志町)が見つけれられるので新たな別な疑問が出てくる。茶屋町は曾祢町の新町のような名称、神社町はまだ宇治山田市に編入されていない、あるいは船江町に含まれる、という推測は出来るが、小川町はあったのではないか？また、一志久保町は明治33年前に一志町に変更されたか？など不明な点がある。

今回は「神宮御師資料 外宮編一～三と六」の内、明治12年7月作成の調書資料のみを調査したが、それらの記載内容を町別に列挙してみると次表のようになる。

これから町名を確認すると、江戸時代末期の町名とは大きな違いはあるものの、明治12年7月当時作成された頃と明治22年市制町村制導入時の宇治山田町の町名とは大差はないので、明治12年7月当時の宇治山田の町名は明治22年に準じて良いと思われる。

「神宮御師資料 六-3」(P.65～87)旧師職総人名簿は明治12年7月調旧師職取調帳等の原本を集約したものと思われる。住所と師職名、彼等に檀家があるかなどの事業状況が簡単に分類記載されていて、宇治山田以外を含め、御師が在住する近隣を含む全体地域を網羅しているようにみえるが、町名分類から考えると「宮川町」がない。宮川町には御師がいなかったのか、その当時は宮川町がなかったのか？

また、外宮編一～三、六の旧師職取調帳等は外宮＝山田地区のみの掲載ではあるけれども、六-3(P.65～87)旧師職総人名簿から資料としてはあるはずの辻久留町、宮川町、田中中世古町、河崎町の掲載がないことが分かる。そのため外宮全体を把握できるとして始めたこの調査も、残念ながら、充分ではなかったことが分かる。

「神宮御師資料 外宮編一～三と六」は御師の廃止に伴う補償金(扶助金)を下賜するための資料であり、明治12年7月に各町戸長より三重県令に対して「旧師職現員調書」等として以下の事項が報告されている。明治4年に御師は既に廃止になっているため、それぞれ旧師職、元師職などと記載されている。記載内容は以下の通り。

01. 師職株銘:この呼称が正しいかどうかは分からないが、相撲でいう親方株のような扱いであったようだ。
02. 師職株の保有株数:1株、銘譲、株預り、銘預り、両(2～4)銘一株、株断の区別がある
03. 元師職名:師職株を保有する師職名
04. 身分階級:平民、士族
05. 通称名1:
06. 通称名2:(1と2の違いは何かは不明)
07. 住所:
08. 旧家格:神宮家、権禰宜家、三方(年寄)家、町年寄、(平)師職など、
09. 旧職名:禰宜、権禰宜、宮掌、大内人など
10. 旧位階:正五位など
11. 配札国郡:祓銘とその入手過程(買得)、配札高(単位:体・戸)、比初穂料、純益金
12. 神楽料:
13. 止宿郎:比料、純益、収入金惣計、純益金惣計、
14. 師職加入年月日
15. (明治)12年6月御救助(扶助)金拝戴
16. 明治4～5年師職・位職、廃止・返上後の編入籍

これらのデータは非常に膨大であるため、11. ～16. に関しては次回に譲り、今回は 01～10 を集計してみた。

この時期は、1872 明治5日本で初めての本格的な戸籍制度(壬申戸籍じんしんこせき)が開始され、1886 明治19住所が屋敷番から地番に変更された町名混乱期であったために、同書の掲載住所には番屋敷と番地が混在しており、記載に番屋敷と番地との混同も散見される。

明治22年市制町村制の導入時の宇治山田町				
町名		六-3.旧師職総人名簿明治12年7月付収録町名		
(宇治)館町	内宮編	旧師職総人名其他取調帳	未調査	○
今在家町		旧師職総人名其他取調帳	未調査	○
中之切町		旧師職総人名其他取調帳	未調査	○
浦田町		旧師職総人名其他取調帳	未調査	○
桜木町		旧師職総人名其他取調帳	未調査	○
中ノ町		旧師職総人名其他取調帳	未調査	○
古市町		旧師職総人名其他取調帳	未調査	○
久世戸町		旧師職総人名其他取調帳	未調査	○
(山田)辻久留町		なし		○
宮川町		なし		×
二俣町	外宮編一	1.旧師職現員調書	明治12年7月08日付	○
中島町		2.旧師職取調帳	明治12年7月16日付	○
浦田町		3.旧師職取調簿	明治12年7月16日付	○
八日市場町		4.旧師職総人名其他取調帳	明治12年7月08日付	○
宮後町		5.旧師職総人名其他取調帳	明治12年7月15日付	○
一之木町		6.旧師職総人名其他取調帳	明治12年7月10日付	○
尾上町		7.旧師職檀家江大麻配札二付 国郡並師職人名録	明治12年7月07日付	○
下中之郷町	外宮編二	8.旧師職取調簿	明治12年7月05日付	○
常磐町		9.旧師職取調簿	明治12年7月付	○
大世古町		10.旧師職総人名其他取調帳	明治12年7月08日付	○
曾祢町		11.旧師職総人名其他取調帳	明治12年7月付	○
一志久保町		12.旧師職総人名其他取調帳	明治12年7月08日付	○
豊川町	外宮編三	13.旧師職総人名其他取調帳	明治12年7月付	○
吹上町		14.旧師職総人名其他取調帳	明治12年7月付	○
岩淵町		15.旧師職総人名其他取調帳	明治12年7月07日付	○
岡本町	六-1	18.旧師職総人名其他取調帳	明治12年7月07日付	○
田中中世古町		なし		○
河崎町		なし		○
船江町・記載漏れ		16.旧師職総人名其他取調帳	明治12年7月18日付	○
絶家・追加分		17.旧師職総人名其他取調帳	明治12年7月付	—
度会郡楠部村		なし		○
度会郡中村	内宮編	旧師職総人名其他取調帳	未調査	○
度会郡前山村		なし		○
度会郡勢田村		なし		○
度会郡舟木村		なし		○
度会郡下野村		なし		○
度会郡田丸村		なし		○
志摩郡鳥羽大里町		なし		○
飯南郡粥見村		なし		○

4. 結果

(1)御師(師職)について

1)最後の御師(師職)は何人いて、どこに住んでいたか？

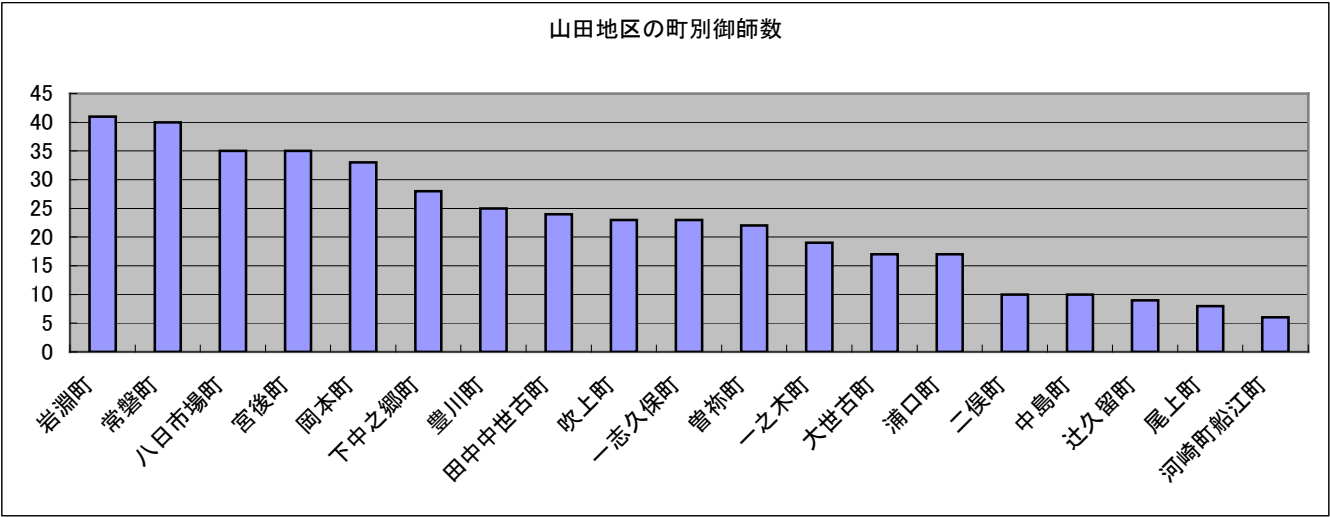
〇〇大夫というのは商家の屋号のようなもので、旅行業者を副業としていた神に使える職業の人たち、「御師」つまり「師職」個人を表すものではない。その個人としての「師職」は何人いて、どこに住んでいたのだろうか？

明治12年7月調「旧師職総人名簿」(外宮御師資料 六 P.65～87)によると、御師廃止当時の在住地区別師職数は、
宇治地区:170名、山田地区:425名、その他の地区:11名 合計 606名であった

出奔・絶家は既に師職ではないと考えられるため除外した。

宇治地区		山田地区	
館町	50	辻久留町	9
今在家町	29	二俣町	10
中之切町	34	中島町	10
浦田町	50	浦口町	17
桜木町	4	八日市場町	35
中ノ町	1	宮後町	35
久世戸町	1	一之木町	19
古市町	1	尾上町	8
宇治合計	170	下中之郷町	28
		常磐町	40
その他の地区		大世古町	17
度会郡楠部村	2	曾祢町	22
度会郡中村	3	一志久保町	23
度会郡勢田村	1	豊川町	25
度会郡舟木村	1	吹上町	23
度会郡下野村	1	岩淵町	41
度会郡田丸村	1	岡本町	33
飯南郡粥見村	1	田中中世古町	24
答志郡大里町	1	河崎町船江町	6
その他合計	11	山田合計	425

この分類によると、宇治と山田地区の境は古市と尾上町にある。山田地区の町別師職数をグラフ化してみると、筋向橋から外宮前を通過して内宮に至る街道沿い、特に外宮北御門付近に多くが住まいしていたという事が判る。しかし街道沿いだった尾上町には、どうしてあまりいなかったのか？宇治地区との境であったためか？



明治12年7月調「旧師職総人名簿」外宮御師資料 六 P.65～87 は以下のように分類されている

	宇治	山田	その他	全体
檀家有り	119	283	7	409 (403)
檀家有り:届出漏れで後日追加	26	16	1	43 (46)
檀家有り?:純益金不詳	6	1		7 (7)
檀家無し	19	122	3	144 (147)
絶家を再興		1		1 (1)
不明		2		2 (0)
師職合計	170	425	11	606 (604)
出奔		1		1 (1)
絶家	20	38		58 (60)
絶家他合計	20	39		59 (61)
総合計	190	464	11	665 (665)
抹消		5		5 (5)

()内数字は同書に書かれている数字であるが、山田地区分は「旧師職取調帳」を分類、精査した結果を記述している。ただし、辻久留町、田中中世古町、河崎町、船江町分はに「旧師職取調帳」に記述がないので同書の通りとし、不明者までをその時点で在住していた師職とした。

師職の檀家有無比率

全体 606家		
檀家有り 456家 (75.2%)	檀家無し 144家 (23.8%)	不明3家 (0.5%)
宇治 170家		
檀家有り 151家 (88.8%)	檀家無し 19 (11.2%)	
山田 425家		
檀家有り 300家 (70.6%)	檀家無し 122家 (28.7%)	不明3家 (0.5%)

明治12年7月調「旧師職総人名簿」外宮御師資料 六 P.65～87 と「神宮御師資料 外宮編一～三と六(町別旧師職取調帳)」に記載されている師職数は「477」。「内、家・大夫付」の殆どは「絶家」。
今回の調査は対象師職数「390」

データベース化した資料は、外宮編一～三、六の旧師職取調帳等で、外宮＝山田地区のみの掲載ではあるけれども、六-3(P.65～87).旧師職総人名簿から資料としてはあるはずの辻久留町、宮川町、田中中世古町、河崎町の掲載がないことが分かる。そのため、以下の結果は、それらの地区を除いた山田地区を把握したものであることに注意いただきたい。

総数	内、師職数	内、家・大夫付	内、取調帳記載数	内、調査対象師職数	内、絶家抹消出奔不明	辻久留町田中中世古町他
477	458 (96.0%)	19	427 (89.5%)	390 (81.8%)	45	42

外宮御師資料 六 P.65～87 掲載御師数 477	
師職数 458 (9.60%)	
内、家・大夫付 21(4.4%)	
内、取調帳記載数 427(89.5%)	
内、調査対象師職数 390(81.8%)	

外宮御師資料 六 P.65～87 掲載御師数と今回調査数の町別差異

	六 P.65～87	今回調査	差
辻久留町	9	0	-9
二俣町	10	10	0
中島町	10	10	0
浦口町	17	17	0
八日市場町	35	35	0
宮後町	35	35	0
一之木町	19	19	0
尾上町	8	8	0
下中之郷町	28	27	-1
常磐町	40	40	0
大世古町	17	17	0
曾祢町	22	22	0
一志久保町	23	23	0
豊川町	25	25	0
吹上町	23	23	0
岩淵町	41	41	0
岡本町	33	34	+1
田中中世古町	24	1	-23
河崎町船江町	6	1	-5
その他	0	2	+2
山田合計	425	390	-35

2)外宮の家格別御師数は？

神宮家	権禰宜家	三方家	(町)年寄 羽書取締役 119(30.5)	(平)師職 186(47.7)	記述 関係 なし
8	25	42			10
(2.1)	(6.4)	(10.8)			(2.6)

(町)年寄：記述には、年寄、師職年寄、町年寄などがある。

羽書取締役：記述には、山田羽書年行事役、羽書取締役があり町年寄と同等の官位があるので町年寄に分類した。

(平)師職：記述には、師職、平師職がある。

神宮家(8家)

士族であるが、明治3年に再興された神宮家1名は平民である。

久志本常伴	久志本常幸	久志本常緩	佐久目晴氏
檜垣貞吉	檜垣貞賢	松木(本)治彦	宮後朝昌

権禰宜家(25家)

家格記載はないあるいは師職、町年寄とある場合で、職名と士族であることから権禰宜家と判断した。平民が1名いる。

宇治久永	榎倉石根	尾崎繁常	栗野八十八
黒瀬のふ	堤 盛言	中西興行	中西興平
中西常武	中西弘縄	中西弘満	中西用亮
中山乙野	橋村淳風	橋村親正	橋村正環
橋村正恒	橋村正貫	橋村正尋	原 兼清
廣田正陽	廣田則明	福井末俱	福井末隆
福井きよ			

三方年寄家(42家)

町年寄家、年寄家、師職、師職年寄家の内、士族の場合は三方年寄家とした。

足代弘直	足代弘世	岩(山)淵幸弘	岩淵幸弘
上部貞文	上部貞亨	上部正治	榎倉弘容
岡田経費	小田谷盛光	亀田秀穎(款)	亀田末通
河井範孝	河井範康	喜多幸親	久保倉武文
久保倉やす	幸福いはほ	幸福虎保	坂 藤馬(英夫?)
正住青山	高田武生	谷 寧國	堤 盛茂
出口延時	橋村正順	福井末貫	福井末経
福井末緑	福島かつ	福島末方	福島末彰
福島末宜	福島末政	福島みつゑ	益卵(谷)四五郎
松尾弘敬	松尾みちゑ	三日市大夫次郎	村山武住
山田大路篤忠	龍 重光		

町年寄家(119家)：掲載を割愛する

町年寄家、年寄家、師職年寄家、三方末家町年寄、山田羽書取締役は平民である場合に町年寄家とした。

平師職家(186家)：掲載を割愛する

師職、平師職家、記載なしは職名から判断した。

3) 外宮の御師各家の位階は？

二位	三位	四位		五位		六位		(記載)無し
1 (0.3%)	1 (0.3%)	39 (10.0%)		21 (5.5%)		66 (16.9%)		262 (67.2%)
従二位	従三位	正四位	従四位	正五位	従五位	正六位上	正六位	
1	1	34	5	19	2	11	55	

二位	三位	四位	五位	六位 66 (16.9%)	(記載)無し (67.2%)
----	----	----	----	------------------	-------------------

1 1 39 21
(0.3%)(0.3%)(10.0%)(5.5%)

従二位1名は神宮家士族の「久志本常緩」で外宮重代(で)権禰宜・正禰宜・一祢宜に昇進、位階は従五位から従二位(禰宜の最高位)に昇進した、通称:久志本正四位常緩、元通称:久志本権頭と記載がある。重代(家)とは、代々正禰宜を出す家柄をいう。

従三位1名は同じく神宮家士族久志本家の「久志本常伴」。職名は外宮禰宜。位階は従三位。通称:久志本二禰宜、元通称:豊受大神宮二禰宜とあるので、二禰宜を務めたものと思われる。

神宮家に生まれた男子は幼少より権禰宜(従五位下)に補され、10員の正禰宜に欠員が出れば正禰宜に補して順次繰上げられ一禰宜に昇る。嘉元03年 1305 以降は禰宜の階級を一禰宜(別称、長官)、二禰宜(以下、殿様)、三禰宜と順に呼んでいた。

神宮家・権禰宜家合わせて 8.5%、三方家を加えて 19.3%であるので、四位・五位はその他の神宮家や権禰宜家が大半を占めていたが合わせて、三方家の半数程度が師職と政務を兼ねて活動していて、五位権禰宜を世襲する叙爵家がいたと想像できる。五位に叙することを叙爵という。

六位以上が 32.8%であるのに対し、三方家以上が 19.3%しかいないことことから、本来、町年寄家から六位に叙されることはなかったが秩序が乱れ、40%程度の町年寄家が位階に叙されるべき師職、権禰宜を兼ねていたと考えられる。

4) 外宮の御師は五位に叙された大夫であったか？

師職を御祈祷師・御師といい通称、大夫とも呼ばれた。平安時代に書かれた「和名鈔」には四位・五位を大夫の位階であるとしている。後世、権禰宜で五位に叙爵した者を称したが「神職の通称」としても用いられた、とある。師職株のうち大夫銘が付いている株は全体の 87.1%を占める。一方、御師の位階は「無し」が全体の 67.2%であることから、師職株銘にある大夫銘はその銘が出来た時の師職が叙爵していたかも知れないが、この調書作成時には師職株銘を表すに過ぎず、株主が叙爵していたことを示していない。

5) 外宮の御師の職種は？(複数回答 総数:435)

禰宜	権禰宜(兼)	大)内人宮掌 神楽職	別宮祝部物忌	その他 神務	政務・ 羽書 取締役	名代・ 手代	神・政務に 関係なし	記載なし
7 1.6	60 13.8%	81 (18.6%)	82 (18.9%)	26 6.0	31 7.1	22 5.1	79 (18.2%)	46 (10.6%)

「名代、手代、神・政務に関係なし」が 23.3%いて、それらは御師専業だったことを伺わせる。

6)外宮の御師の位階と職種(師職名)との関係は？

二位	(外宮)一禰宜	(1)久志本常緩
三位	外宮禰宜	(1)久志本常伴
四位 (38)	内宮権禰宜	(7)久保倉武文、幸福いはほ、坂 藤馬、高田武生、中西興平、林 つる、三日市大夫次郎
	外宮禰宜	(2)檜垣貞吉、宮後朝昌
	外宮権禰宜	(29)上部貞文、上部貞亨、上部正治、榎倉石根、亀田末通、河井範孝、河井範康、栗野八十八、黒瀬のふ、谷 寧國、中西常武、中西弘満、中西用亮、橋村ミちよ、橋村淳風、橋村正順、橋村正尋、原 兼清、廣田正陽、廣田則明、福井末経、福井末貫、福井末緑、福井きよ、福島かつ、福島末方、福島末彰、福島末政、福島みつゑ、
	外宮権禰宜 兼:	大物忌父、副物忌父、物忌、御塩焼(副)物忌(父)、御炊大物忌、玉串大内人、三方年寄、町年寄、師職年寄
五位 (21)	内宮権禰宜	(6)宇治久永、岡田経費、尾崎繁常、堤 盛言、堤 盛茂、中西興行、
	外宮(重代)禰宜	(3)久志本常幸、檜垣貞賢、松木治彦(重代)、
	外宮権禰宜	(12)足代弘直、亀田秀頼、出口延時、橋村親正、橋村正環、橋村正恒、橋村正貫、福井末俱、福井末隆、福島末宜、松尾弘敬、村山武住、
	(外宮)権禰宜 兼:	御塩焼物忌父、物忌、守見副物忌父、町年寄、
六位		外宮擬府権禰宜、外宮公文大内人、藤波祭主殿知家事職
	(大)宮司付属	大宮司家付属御厨案主職、太神宮御厨案主、宮司付属案主職、大宮司家政所、大宮司付属目代、大神宮司庁公文職員、宮司家付職員、宮司付属検非違使、大宮司家付属権主典、大宮司付属、司之主典、大神宮附属知〇〇
	造営	外宮御造営一頭職、御造営二頭代職
	司	宇陀神戸司、伊賀国名張神戸司、補飯高神戸司、安濃東郡司、
	領	度会郡司権大領、員辨郡司大領朝明郡司大領、安濃西郡司少領、多気郡司少領、飯高郡司少領、
	(外宮)宮掌大内人	(兼)物忌 外宮別宮土宮(御炊物忌、御塩焼物忌、守見物忌、物忌、) 外宮別宮月読(夜見)宮(御炊物忌、守見物忌、物忌、) 外宮別宮風宮(御炊物忌、御塩焼物忌、物忌、) 外宮別宮多賀宮(御炊物忌、守見物忌、) 外宮別宮高宮(御炊物忌、守見物忌、御塩焼忌、) (兼)内人 外宮公文大内人、外宮根倉内人、外宮御鍵取内人、外宮御鑰取内人、 外宮御笠縫内人、 外宮別宮多賀宮玉串内人、外宮別宮風宮玉串内人、外宮別宮土宮内人、
	祝部	外宮摂社草奈伎神社
位階 なし		内宮権禰宜、(外宮)権禰宜、未補権禰宜、大宮司付属、(外宮・補任)宮掌大内人、(外宮・補任)神楽職、外宮権主典、外宮奉行役、両宮仮御桶代役、
	造営	内宮造宮忌鍛冶、内宮御造営四頭職、内宮御造営頭方小工職、
	物忌	外宮別宮高宮物忌、土宮御炊物忌、外宮別宮風宮守見物忌、
	内人	(神宮・外宮)小内人、御既飼内人、御箭作内人、 外宮小内人布衣、布衣職、外宮師職布衣、布衣宮掌大内人、
	祝部	外宮と神宮諸社(外宮末社式内外)祝部等、
	外宮摂社	大間國生神社(式内)、河原大社(式内)、清野井庭神社(式内)、山末神社(式内)、志寶屋神社(式内)、松木神社(式外)、度会大国玉比賣神社、宇須乃野神社、小俣神社、志等見(美)神社、志寶屋神社、北御門神社、山末神社(式内)、田上大水社、大河内神社、志等美神社、度会國御神社(式内)、河原瀨神社、度会國御神社(式内)、
	外宮末社	上御井神社、下御井神社、神村神社、野依中神社、縣神社(式外)、打懸神社、伊我利神社、高河原神社、毛理神社、
	摂・末社外か？ 当時のことは不明	多喜津高神社、高神社、度会氏神社、中松原神社、松本神社、客神社、箕曲氏神社、河原大神社、

7) 外宮の御師の家格と職務の序列は？

御師の家格	神職				神職兼務						神務				政務				
神宮家	(重代)禰宜																		
	重代																		
権禰宜家	権禰宜	未補			大物忌父	副物忌父	物忌父		副物忌	大内人						三方年寄職			
三方家																			
町年寄家																擬府権禰宜		宮掌大内人・神楽役	祝部
平師職家			山田羽書年行事役 羽書取締役		名代 三方役人														

宮掌(くじょう)	伊勢神宮や熱田神宮のみに置かれる神職の一つで、権禰宜の下位の位。内宮、外宮に仕え権禰宜を補佐していて、別宮担当を兼務していた、と思われる。調査対象の期間では「宮掌大内人」が1つの職位ではなかったか？
内人(うちんど・うちひと)	伊勢神宮などの神職で禰宜の次の位。宿直や供御(くご、神に供える酒食)を司った。職位というより職種を表しているように思う。
祝部(はふりべ)	撰・末社の神職だと思われるが、「宮掌大内人」との序列は明確ではない。
主典(しゅてん・さかん)	伊勢神宮などの神職で禰宜の次の位。祭儀や庶務を執行した判人官待遇の神職
物忌(ものいみ)	けがれを除くことの意味から、伊勢神宮などに仕えた童子・童女。職位というより職種を表しているように思う。
物忌父(ものいみちち)	物忌の保護者。職位というより職種を表しているように思う。

御師の構成家格

宇治	山田	家格の内容
神宮家		内宮・外宮の10員の禰宜を世襲する家柄 宇治: 荒木田神主、山田: 度会神主の直系家
宇治会合家	山田三方家	会合・三方(年寄)家: 神領自治2役所の年寄を任ずる家柄 宇治会合所在: 宇治中之切町、山田三方所在: 一之木町)
末家	町年寄家	各町の年寄職で宇治会合、山田三方に属していた
平師職家		彼等は神宮の権禰宜を補佐する宮掌大内人や祝部(下級神職)をしながら御師を営んでいる者や名代など専業に御師を営んでいる者がいて、その大半が「殿原」という階級＝家格に属していた、と諸書に記載があるが、同調書では「殿原」という語句は一度も出現せず、平師職家あるいは師職家と記載されていて、職責などから推測すると、完全な年寄の支配下にあったという事ではなく、ある程度、独立していた家格であったようにも思う。あるいは「平師職」というのは家格を表すものではなく職種を表しているのかも知れない。
殿原(とのぼら)		年寄の主人請(保証人)という支配下にある名字を持つ一般の御師で、全国を廻檀した御師の「手代」や商業を営んでいる者もいた。 同調書では「名代」と記載されているが、手代や代官とも云った。
仲間(ちゅうげん)		師職家より主人請(保証人)となっていた師職でない庶民。 苗字なき庶民で手代の下働きをした。

御師の組織は宇治会合・山田三方の神領自治2役所で管理されていたと思われるが、明確ではない。

師職あるいは平師職「185名/390名」のうち、正四位:1名、正六位:5名、無位:179家。
権禰宜1名・神務:5名(3.2%)、宮掌大内人:51名(27.6%)、祝部:36名(19.5%)、名代:16名(8.6%)、神務・政務に関係なし(御師または名代＝手代等を営むか?):54名(29.2%)、記載なし:22名(11.9%)

師職あるいは平師職 185名(47.4%)/390名					
	無位 179家(96.8%)				
	宮掌大内人 51名(27.6%)	祝部 36名(19.5%)	名代 16(8.6)	神務・政務に関係なし 54名(29.2%)	記載なし 22(11.9%)

権禰宜1名・神務:5名(3.2%)

(2)御師株について

8)御師株銘柄は幾つあったか?:『708株』
御師株銘以外に 11. 配札国郡の中に祓銘が記載されているがそれも列記し計数した。
しかし、祓銘を記述していない調書もあり、その実態を表してはいないと思われる。
その大半が「大夫」であった。

御師株銘柄 708株	
内、大夫付 617(87.1%)	大夫なし 91(12.9%)

御師株ではない「祓銘」のみのとして銘柄が『55』あり、御師株銘柄のうち「祓銘」を兼ねているものと合算すると、『763銘』 その内の祓銘を兼ねている(と記載されている)銘柄は『361銘』

「祓銘」を兼ねているものを含む御師株銘柄 763銘	
内、祓銘を兼ねている銘柄 361(47.3%)	祓銘ではない銘柄 402(52.7%)

「祓銘ではない銘柄」は祓銘と記載されていない銘柄であり、祓銘ではなかったかどうかは不明である。
配札国、つまり御祓いを配布する担当地域は御師株銘柄、祓銘でほぼ決まっていて、株主が代わってもそれらの銘は引き継がれて使用され、自分の本来持っている御師株銘柄に変更するようなことは少なかったという。

9)御師株の保有形態は? 1株単位ではなく、分割株もあった:総数『1, 004』
分割株だけでなく、「銘柄譲渡」、「(分割)預かり」、「断(断絶?)」などの形態があった。
「配銘」は祓銘を保持している意味しているようだ。従って、「御師株」には入らない。

御師株の保有形態 総数1, 004									
1株 488(48.6%)	1	1	1	銘譲 280(27.9%)	1	1			
	/	/	/		預	/	断	無	不明
	2	3	4			2			
	株	株	株			預			
80 13 4				28 95 2 8 2 32 +31					
(8.0%)(1.3%)(0.4%)				(9.5%)(0.2%)(0.8%)(0.2%)(3.2%)(+3.1%)					

約半数は1株単独で保有されていたが、残りの半数は複雑に持ち合いされていた様子が窺える。
両(2～4)銘一株はそれぞれ 1/2～1/4 株と表示した。

10) 1御師株の株主数は？(御師株銘柄は708株)

1名 534(%)	2名 106(15.0%)	3	4	5	8	9
--------------	------------------	---	---	---	---	---

42 17 6 1 2
(5.9%)(2.4%)(0.9%)(0.1%)(0.3%)

11) 家格ごとの御師株保有数は？

御師株銘の記載に関しては如何にも転写時の書き間違いや旧字などの表示があるが、独断と偏見で付表「御師株銘 および 祓い銘一覧」としてまとめ、数を計数した。

家格別師職株	人数	保有銘柄数	内、大夫銘	内、祓銘兼用	祓銘のみ
神宮家	27(2.6 %)	23(2.6 %)	15	19	2
権禰宜家	68(6.6 %)	58(6.6 %)	50	38	8
三方家株	91(8.8 %)	82(9.4 %)	64	51	7
町年寄・羽書取締役	437(42.2 %)	348(39.8%)	300	218	36
平師職	368(35.5 %)	325(37.1 %)	300	156	27
家格記載なし	45(4.3 %)	39(4.5 %)	35	22	6
株小計	1036	875	765	504	86
絶家・抹消家	13	13	11	0	0
株合計	1049	888	776	504	86
祓銘のみの内訳は？	—	32	37	54	55

この統計の記述から三方(年寄)家以上は士族となっているため、師職年寄家と記載してあっても士族の場合は「三方(年寄)家」に、平民の場合は「(町)年寄家」に、また単に師職あるいは平師職と記載されているものは「(平)師職家」とし、羽書取締役(1家のみ)は平民であったので「(平)師職家」に分類した。

「祓銘のみ」の銘柄は株主によって保有銘柄であったり、「祓銘のみ」である銘柄を重複して計数している。

師職株銘柄の 2/3 程度は町年寄・平師職が保有していた。

祓い銘を兼用した師職株銘柄は古来から継承されていた可能性が想像できるが、それ以外の約半数は単に地域担当師職を表す旅行業者名を表していたと思われる。

12) 株主(御師=師職)の家格内訳は？銘柄毎の株主延総数は絶家・抹消家を覗いた『1,036 名』

神宮家	権禰宜家	三方家株	町年寄・羽書取締役 437(42.2 %)	平師職 368(35.5 %)	家格記載なし
27	68	91			45
(2.6 %)	(6.6%)	(8.8%)			(4.3%)

13) 家格別の保有銘柄数内訳は？総数『875 銘柄』

神宮家	権禰宜家	三方家株	町年寄・羽書取締役 348(39.8%)	平師職 325(37.1 %)	家格記載なし
23	58	82			39
(2.6 %)	(6.6%)	(9.4%)			(4.5%)

参考文献

平成15年発行 伊勢市立郷土資料館第13回特別展図録「伊勢の町と御師～伊勢参宮を支えた力～」

Wikipedia

付表:各家保有株銘柄 及び 祓銘●一覧

●祓銘▼(祓銘のみ)▽(祓銘のみ?)

神宮家 (24)

栗野内蔵大夫●	久志本権神主	椿叟大夫	福井藤兵衛●
栗野田龍大夫●	幸田大夫●	中倉七郎(良)大夫●	松木(本?)坂井大夫●
石松重大夫	幸田主計大夫●	中西孫太郎▽	松田与(與)吉大夫●
一之木神主●	佐久目(月)大夫	橋爪孫大夫	宮井将監●
内海大夫●	高林彦大夫●	檜垣神主●	宮後神主●
久志本神主●	千賀大夫●	檜垣二見大夫●	横橋檜垣神主●

権禰宜家 (60)

有江大夫	幸福孫大夫●	中山甚内大夫	春木左門大夫
栗野内蔵大夫●	杉木吉大夫●	中山相馬大夫	桧垣左兵衛▼
岩淵中西大夫	杉山林大夫	中山對馬大夫	檜(桧)垣右京●
宇治麻生(吉)口六大夫●	高向二頭大夫●	中山兵庫大夫	廣田筑後●
榎倉丹後●	逐沼三大夫	長橋宗大夫	廣田與三大夫●
榎倉大夫●	堤 左大夫●	橋村主計●	福井出雲
榎倉式部大夫●	堤 長福大夫●	橋村治郎	福井九兵衛●
老沼大夫	堤 長熊大夫●	橋村市大夫●	福井左門大夫●
扇館半大夫●	出口忠大夫	橋村吉大夫●	福井服部大夫
尾崎雅樂	中西大夫●	橋村久大夫●	藤井八郎大夫●
河村孫大夫●	中西右大夫	橋(槁)村内蔵大夫●	松室善大夫●
久保田三郎大夫	中西久大夫●	橋村大蔵大夫●	御炊大夫●
黒瀬大夫	中西平大夫	橋村肥前大夫●	三谷彦大夫
黒瀬三頭大夫▼	中西與大夫●	橋本大夫●	宮後三頭大夫●
慶徳八良大夫	中山兵庫●	原 大夫●	森 平大夫

三方家 (83)

青山泰大夫	紀伊國幸福大夫●	中西内匠	福嶋新亟大夫▼
足代玄蕃●	久野傳大夫	中西大夫●	福島御塩焼大夫●
足代左門	久保金二郎大夫	中西宮大夫●	福田大夫●
足代左衛門●	久保倉但馬●	長橋宗大夫	福田万大夫
足代勘兵衛●	久保倉大夫●	西川原式部大夫	藤原大夫●
足代勝大夫●	幸福出雲●	橋爪孫大夫	藤原勘々由大夫
足代七大夫●	幸福大夫	橋村大夫●	正住傳大夫
足代式部大夫●	幸福数馬大夫	橋村右近大夫●	益大夫●
岩淵岡田大夫●	坂 大夫●	橋村八郎大夫●	松尾徳左衛門
岩淵(淵)二頭大夫	榊間三大夫	橋村三郎右衛門大夫	松尾大夫●
上部左近●	鈴木嘉大夫	福井土佐●	松尾治郎大夫●
上部大夫	高田大夫●	福井九兵衛●	御炊大夫●
榎倉右近●	高向二頭大夫●	福井勘右工(衛)門●	三日市大夫次郎●
榎倉修理(之)進●	田中大夫	福井大夫●	南倉大夫
大田権大夫●	谷 大夫●	福井大炊大夫	南倉左衛門
岡田大夫●	谷倉大夫	福島伊豆	村山大夫●
小田谷大夫	堤 大夫●	福島新之允	矢野大夫
亀田大夫●	中井五郎大夫	福島大二郎(良)●	山本長大夫
亀田武大夫	中田大夫●	福島八左工(衛)門●	龍大夫●
喜多出雲●	中田織部大夫●	福島大夫●	綿谷大夫●
北御門長大夫●	中津伊大夫	福島文大夫●	

町年寄・羽書取締役 (345)

相川善大夫	喜早理大夫●	辻 左京	福市味右衛門●
足代玄蕃●	喜早因幡大夫●	辻 大夫●	中古福市大夫▼
足代左衛門●	來(来)田新左衛門●	辻 喜大夫●	福島伊豆
足代勘兵衛●	來田監物大夫●	辻村大夫●	福島七之丞
足代大夫	來田民部大夫●	槌屋九郎大夫	福島大二郎(良)●
足代勝大夫●	北御門藤本大夫	堤 大夫●	福島(島)鳥羽大夫●
足代久大夫	吉 大膳●	堤 長大夫 ●	福島(嶋・鳶)與(与)村大夫●
足代七大夫●	吉 五郎大夫	堤 彦大夫●	福田大夫●
足代南倉大夫	紀伊國幸福大夫●	堤 織部大夫	福田御鋤大夫
東 彦左衛門●	久保大夫四郎	堤 内山大夫●	福田与郎大夫
栗野大夫●	久保丸井大夫●	堤 三郎大夫	福田与五郎大夫
栗野大膳▽	久保与(與)五郎大夫●	椿児大夫●	福村善大夫
栗野左大夫	久保倉掃部●	椿叟大夫	福本大夫●
栗野内蔵大夫●	久保倉但馬●	出口信濃●	藤本八大夫
石松重大夫	久保倉大夫●	出口忠大夫	藤本八郎大夫●
一志杉村大夫●	久保倉重大夫	遠山大夫●	藤原大夫●
一志正住大夫●	久保倉金吾大夫●	徳田大夫●	藤原甚大夫
一志孫福大夫●	久保倉二頭大夫	徳屋喜大夫	二俣中津大夫
今井田大夫●	熊鶴大夫●	豊田大夫	二俣中西大夫
岩出市大夫●	熊鶴三郎大夫●	豊田椿叟大夫	瓶子大夫●
岩田作大夫	黒瀬大夫	中井孫次大夫	前野喜大夫●
岩戸弥一大夫●	蔵田大夫	中川大夫	前野義大夫
岩淵栗野大夫	慶徳主馬●	中川安大夫●	前野矢畑大夫●
岩淵中西大夫	慶徳大夫	中倉七郎(良)大夫●	正住大夫●
岩淵(淵)二頭大夫	慶徳藤大夫●	中田大夫●	正住善之丞
岩淵布谷大夫	慶徳三良大夫●	中田織部大夫●	馬瀬大夫●
上田織部大夫	幸田半衛門	中津長大夫	松井佐(左)大夫●
上地大夫	幸田大夫●	中西求馬	松尾善大夫●
上部勘五郎大夫	幸田源内大夫●	中西式部●	松木(本)雅楽之助●
宇治与右衛門	幸田主計大夫●	中西丹後	松木(本)館八郎大夫●
宇治麻生(吉)口六大夫●	幸福内匠▽ (祓銘のみ?)	中西内蔵進路▼	松田?▽
内山大夫●	幸福大夫	中西兵衛	松田次郎左衛門
内山六大夫●	幸福彦大夫	中西大夫●	松田三大夫●
内山八郎大夫●	小禰宜大夫	中西久大夫●	松田長大夫●
内海大夫●	小林大夫●	中西清大夫●	松田左近大夫
上部左近●	小林清大夫●	中西求馬大夫	松田与(與)吉大夫●
上部因幡大夫●	小林忠大夫	中西七郎兵衛	松田三郎四郎大夫●
上部榊原大夫●	五文字屋大夫●	中西造酒大夫●	松葉七郎大夫●
江川大夫●	古森大夫●	中村久大夫●	松葉次(二)郎大夫●
榎倉数馬	坂 大夫●	中村四郎大夫	松村長大夫●
榎倉隼人	坂口伊大夫	中山縫殿	松室与(與)一大夫●
榎倉義大夫●	榊原大夫●	中山甚内大夫	松室與三大夫●
榎倉式部大夫●	酒谷弥三大夫	長橋八大夫●	松本大夫
扇館半大夫●	佐久目(月)大夫	並木丸井大夫●	丸岡宗大夫●
大世古森大夫●	清水奎大夫●	西野弥五大夫	丸林大夫●
大西大夫●	杉(杣)木大夫	西村大夫●	丸林六大夫▼
大西助大夫	杉木吉大夫●	西村長大夫●	三頭文左衛門
大主大夫●	杉木権大夫●	西山大夫	御塩弥三大夫●
大主幸福大夫	杉木宗大夫●	錦谷大夫●	御炊大夫●
大主長左衛門	杉木(本)三郎大夫●	二本杉大夫●	御炊左大夫
大橋又大夫●	杉松大夫●	二本松大夫	三谷勝大夫

岡野善大夫	杉松数馬▽(祓銘のみ?)	二本松織部大夫●	三日市大夫次郎●
岡村大夫●	杉松兵衛大夫▽	野依弥三郎大夫	三日市兵部大夫
岡村三大夫●	筋向橋縫殿●	野村金大夫●	三日市与(與)三大夫●
岡村又大夫●	筋向橋小林大夫●	野村吉六大夫●	箕曲甚大夫
岡本大夫	鈴木重大夫●	白米右京●	三村大夫●
岡本豊田大夫●	鈴木宮大夫	白米庄大夫	三村権助大夫(絶家)
小川久大夫	隅善大夫	白米石見大夫	宮井将監●
小川与(與)大夫●	莊門大夫●	白米左近大夫●	宮後逐沼大夫●
小倉大夫●	曾祢二見大夫●	白米彦助大夫	宮後三頭大夫●
小田谷大夫	高尾大夫	白米織部大夫●	村田次郎大夫
小田林大夫	高木次郎大夫	橋 大夫次郎	村田治郎大夫
小田権大夫●	高崎彦大夫●	橋爪大夫	村松大夫●
小田九郎大夫●	高瀬宗大夫	橋爪藤大夫	村松一師大夫
奥山大夫●	高田大夫●	橋村主計●	村山掃部
尾崎式部●	高田因幡大夫●	橋村吉大夫●	森 与大夫●
尾崎大夫	高田仁右衛門大夫	橋村八大夫●	森鳶(島)治郎●
尾寄(崎)長大夫●	高林彦大夫●	橋村織部大夫●	安田傳大夫
尾崎(寄)河内大夫	高向辻大夫	橋(橋)村内蔵大夫●	矢野弥三大夫
落合権大夫●	高向松大夫●	橋村帶刀大夫●	大和幸福大夫●
御祓屋四郎大夫	高向二頭大夫●	橋村三郎左衛門大夫	山川八大夫●
角田大夫●	高向与三大夫●	橋本大夫●	山口角大夫
笠井大夫●	谷 主水●	林 大夫●	山倉大夫●
笠井椿叟大夫●	谷 理左衛門	林 刑部大夫●	山田大路三大夫
釜谷大夫	谷 大夫●	林 左近大夫●	山本大学
釜屋大夫●	谷 一大夫●	林 多門大夫●	山本重大夫●
神谷大夫●	谷 一郎大夫●	林 三部右(左)衛門大夫●	結谷大夫
亀田大夫●	谷 兵部大夫●	祓屋大夫	横橋大夫
亀田権大夫	谷倉大夫	春木庄大夫●	横橋鎰谷大夫●
河井出雲	為田六右衛門	檜垣越中●	吉澤大夫●
河井大夫	為田大夫●	檜垣神主●	吉澤栗野大夫●
河井林大夫●	為田源大夫	廣田大夫	吉澤重郎大夫
河北助大夫	為田権大夫	廣田幸満大夫	龍大夫●
河北次郎大夫	為田右近大夫	廣辻公文大内人	龍松大夫
神田八郎	為田源右衛門大夫	深井大夫●	龍松善大夫
木田作大夫●	千萱大夫	福井右京●	綿谷彦大夫
木下久大夫	千萱吉祥▼	福井帶刀●	綿谷主税大夫
喜多左大夫●	千賀大夫●	福井孫六馬	
喜多孫大夫●	千賀八左衛門●	福井孫右衛門●	
喜早大夫	逐沼大夫	福井大夫●	

平師職 (334)

赤柄大夫●	川崎與大夫	谷 大夫●	福井大夫●
麻谷弥大夫	木田大夫	谷 一郎大夫●	福井服部大夫
足代玄蕃●	木田作大夫●	谷口次郎大夫	福島大二郎(良)●
足代左衛門●	喜多村多門大夫	為田助大夫	福本大夫●
足代勝大夫●	喜田弥三大夫	為田孫八大夫	福本善大夫
足代治郎大夫	来田監物	丹藏与大夫●	藤井大夫
足代祐左衛門▼	来田助之丞(丞)●	千賀金吾大夫●	藤井源大夫
東 一郎大夫●	来田四郎大夫	柘植喜大夫●	藤井八郎大夫●
阿竹大夫	来田民部大夫●	辻 大夫●	藤木大夫●
阿竹宗大夫	北川椿叟大夫	辻 喜大夫●	藤木神主▼
阿竹藤大夫	北御門長大夫●	辻田善大夫	藤田大夫●
粟野左大夫	吉 勝大夫	辻村大夫●	藤田長大夫
飯田久大夫●	紀伊國幸福大夫●	辻村五郎大夫	藤田與大夫
飯田三大夫	久野傳大夫	津田長大夫●	藤田治郎大夫
池上吉大夫●	久保大夫四郎	堤 長兵衛●	藤本大夫●
池田仁大夫	久留勘大夫	堤 大夫●	藤本勘兵大夫●
井坂大夫	工藤十大夫●	堤 長大夫 ●	藤原甚大夫
石松重大夫	工藤重大夫●	堤 織部大夫	船木市大夫
石丸喜大夫	熊鶴三郎大夫●	堤 長熊大夫●	古川豐助大夫
井田助六大夫	黒瀬左大夫	津村正大夫●	古川善大夫
井田与二大夫	黒瀬勘大夫●	徳田宗大夫	前野喜大夫●
一河三大夫	桑原石大夫●	豊田大夫	益善大夫●
一志奎大夫●	慶徳亦右衛門大夫	豊田五郎大夫●	益田林大夫
一志加藤大夫●	幸田大夫●	中井弥次大夫	増山治郎大夫
一志杉政大夫●	幸田主計大夫●	中川喜大夫	松木弥三大夫
一志杉村大夫●	幸福孫右衛門	中川小大夫	松木(本)館八郎大夫●
一志正住大夫●	幸福善五大夫	中川治大夫	松下勘大夫
一ノ鳥居七郎大夫	小島大夫	中川安大夫●	松田宗左衛門●
伊東喜大夫	小館久大夫	中川三郎大夫●	松田大夫●
伊村源大夫	小西大和大夫	中北大夫●	松田与(與)吉大夫●
伊村儀輔光枚▼	小林大夫●	中沢市大夫	松田御炊▼
伊良胡館大夫	小杜市大夫	中田大夫●	松村宗大夫●
稲木八八(兵)衛	小楽崎孫大夫	中田孫大夫	松室善大夫●
今橋清大夫	児玉左大夫●	中津大夫●	丸井清大夫●
井村大夫	五富利大夫	中西内匠	御塩館大夫●
井村傳大夫●	古森大夫●	中西縫殿	御塩弥三大夫●
岩出市大夫●	近藤長大夫●	中西大夫●	御炊大夫●
岩田彦左衛門	斎藤八大夫●	中西久大夫●	御炊度會篤忠▼
上村七郎大夫●	坂井大夫	中西宮大夫●	水溜吉郎大夫●
内瀬大夫	坂口大夫	中西三郎大夫	三日市大夫次郎●
内山正大夫	坂口長次大夫	中西造酒大夫●	御筈大夫
内海大夫●	坂田与(與)次大夫●	中西藤原大夫●	宮井将監●
内海長大夫	坂本莊大夫	中野三大夫	宮熊作大夫
宇二館太郎大夫●	榊原大夫●	中野善司大夫	宮田大夫
宇仁田久大夫	酒壺八郎大夫	中村大夫●	向井谷瀬大夫
宇野源之丞	佐田長大夫	中村吉大夫	村井左大夫
梅谷松大夫	佐竹半大夫	中村定大夫	村井忠大夫
梅津三郎大夫	佐波与十大夫●	中村忠大夫●	村田三大夫
梅干館三郎大夫	佐野善大夫	中村伝(傳)大夫●	村西宗大夫
浦村彦大夫	茂村伊大夫●	中村仲大夫	村松大夫●
上部金吾大夫●	七家又大夫	中森儀大夫	村松儀大夫

大泉忠大夫	柴山権大夫	永田大夫	村山掃部
大島兵大夫	柴山大夫▼	長橋大夫●	村山大夫●
大田右近	島田七郎大夫	長橋八大夫●	村山久大夫
大田吉郎大夫	島田中藤左衛門	並木徳大夫●	森 大夫
大竹昌大夫	庄門大夫	西川長大夫	森田太郎大夫
大西大夫●	人長館忠大夫	西島平大夫	森本大夫
大野忠大夫	杉井久兵衛	西田喜大夫●	安田重大夫●
岡田兵庫大夫●	杉(杵)木大夫	西田忠大夫	安山治大夫
岡本西大夫●	杉木吉大夫●	西藤大夫	養父内勘大夫
岡本豊田大夫●	杉木宗大夫●	西村伊左衛門	山川八大夫●
小川久大夫	杉木(本)三郎大夫●	西村大夫●	山口権大夫
小岐須彦大夫	杉原八大夫▼	西村長大夫●	山倉大夫●
小倉四郎大夫	杉原丹蔵大夫	野依千右衛門	山崎重大夫
小田吉大夫	杉松大夫●	野村四郎大夫	山畑利大夫
小野田市大夫●	杉山林大夫	白米大夫	山原右大夫
奥田清大夫	鈴岡大夫	白米治大夫	山村大夫●
尾寄長左衛門	鈴木三大夫	白米彦大夫▼	山本源大夫
尾寄(崎)長大夫●	鈴木甚大夫●	白米織部大夫●	山本長大夫
落合権大夫●	瀬川長大夫●	端館助大夫●	山本孫大夫
親井助大夫	世古口雙大夫(絶家)	橋爪保大夫●	山本利大夫
垣屋大夫●	高木大夫●	橋爪孫大夫	山本市郎大夫●
角田大夫●	高木平右衛門	橋爪孫七大夫	結城弥三大夫●
角田藤大夫●	高崎善大夫	橋本金大夫●	横橋大夫
角谷八大夫●	高田彦大夫	橋本源大夫	横橋鎰谷大夫●
笠松莊大夫	高橋嘉大夫●	林 左近大夫●	吉田大夫
金屋大夫●	高林彦大夫●	春木金大夫	龍松大夫
亀松大夫	多氣次郎兵衛●	春木一頭大夫	若井源大夫
河井林大夫●	竹内七郎大夫	阪田伊大夫	綿谷大夫●
河崎惣大夫●	田中蔵人●	檜垣神主●	綿谷重大夫
河崎善五大夫	田附半大夫▽	檜(桧)垣右京●	綿谷弥三大夫
河村大夫●	田中奎大夫●	東川宗大夫	綿屋大夫
河村重大夫	田中七郎大夫	福井土佐●	
河村善五大夫	田中福村大夫●	福井藤兵衛●	

家格記載なし (40)

足代勝大夫●	小島治郎大夫	中沢喜左衛門	松田大夫●
飛鳥喜大夫●	茂村伊大夫●	中西平大夫	松田長大夫●
石田大夫	杉木宗大夫●	中村壽大夫	松村藤大夫▼
角田大夫●	杉村清大夫	濱口理大夫	的場久大夫
角田藤大夫●	世木吉左衛門	廣瀬左大夫	宮田大夫
金屋大夫●	為田大夫●	福井大夫●	村山掃部
亀田大夫●	辻 喜大夫●	福島(嶋・鳶)與(与)村大夫●	森 左兵衛
久保倉掃部●	堤 大夫●	藤本勘兵大夫●	森 大夫
黒瀬大夫	徳田大夫●	藤原大夫●	森 与大夫●
小島大夫	中沢市大夫	増山治郎大夫	山口角大夫

絶家抹消家 (13)

井上伊左衛門	木造大夫	福島掃部大夫	山本左大夫
河北大夫	佐竹半大夫	松木神主	
河北喜大夫	杉村大夫	松本大夫	
河村彦大夫	堤 林大夫(絶家)	村松長大夫？	

祓銘のみ (55)

足代七大夫●	黒瀬三頭大夫▼	堤 織部大夫	藤木神主▼
足代祐左衛門▼	幸福内匠▽	出口忠大夫	藤原甚大夫
栗野大膳▽	小林大夫●	中西内蔵進路▼	松田？▽
一志正住大夫●	柴山大夫▼	中西孫太郎▽	松田与(與)吉大夫●
伊村儀輔光枚▼	杉木宗大夫●	中西大夫●	松田御炊▼
岩出市大夫●	杉原八大夫▼	白米彦大夫▼	松村藤大夫▼
榎倉修理(之)進●	杉松数馬▽	橋本大夫●	丸林六大夫▼
扇館半大夫●	杉松兵衛大夫▽	春木庄大夫●	御炊大夫●
大西大夫●	高木大夫●	桧垣左兵衛▼	御炊度會篤忠▼
小川与(與)大夫●	高崎彦大夫●	廣田與三大夫●	三日市与(與)三大夫●
角田藤大夫●	田附半大夫▽	福井孫右衛門●	村山掃部
喜多孫大夫●	為田大夫●	中古福市大夫▼	山本重大夫●
来田助之丞(丞)●	千萱吉祥▼	福島大二郎(良)●	横橋鎰谷大夫●
熊鶴三郎大夫●	堤 大夫●	福島新丞大夫▼	

付表:師職(御師)株名と株主数、持ち株形態、株主の家格

●祓銘にもなっている▼祓銘のみ株無し▽祓銘のみか？

師職(御師)株銘	株形式				株主家格						株主数	株保有形態										
	株数	大夫付	祓銘	祓銘のみ	神宮家	権禰宜家	三方	町)年寄羽書取	平)師職	絶家抹消	記述・関係なし	配銘	1株	1/2株	1/3株	1/4株	銘譲	1預	1/2預	断	無	不明
相川善大夫	1	1						1				1	1									
青山泰大夫	1	1					1					1	1									
赤柄大夫●	1	1	1						1			1						1				
麻谷弥大夫	1	1							1			1	1									
足代玄蕃●	1		1				1	2	1			4		1			3					
足代左門	1						1					1				1						
足代左衛門●	1		1				1	1	1			3			2	1						
足代勘兵衛●	1		1				1	1				2			1	1						
足代大夫	1	1						1				1			1							
足代勝大夫●	1	1	1				1	1	1		1	4					1	2				1
足代久大夫	1	1						1				1						1				
足代七大夫●	1	1	1	1			1	1				1	1									
足代式部大夫●	1	1	1				1					1	1									
足代治郎大夫	1	1							1			1	1									
足代南倉大夫	1	1						1				1					1					
足代祐左衛門▼			1	1					1			0	1									
飛鳥喜大夫●	1	1	1								1	1	1									
東彦左衛門●	1		1					1				1	1									
東一郎大夫●	1	1	1						1			1	1									
阿竹大夫	1		1						1			1	1									
阿竹宗大夫	1	1							1			1	1									
阿竹藤大夫	1	1							1			1	1									
有江大夫	1	1				1						1						1				
栗野大夫●	1	1	1					3				3	2				1					
栗野大膳▽				1				1				0										
栗野左大夫	1	1						1	1			2	1				1					
栗野内蔵大夫●	1	1	1		1	1		1				3	1				2					
栗野田龍大夫●	1	1	1		1							1										1
飯田久大夫●	1	1	1						1			1	1									
飯田三大夫	1	1							1			1	1									
池上吉大夫●	1	1	1						1			1	1									
池田仁大夫	1	1							1			1	1									
井坂大夫	1	1							1			1	1									
石田大夫	1	1									1	1						1				
石松重大夫	1	1			1			1	1			3	1				2					
石丸喜大夫	1	1							1			1	1									
井田助六大夫	1	1							1			1	1									
井田与二大夫	1	1							1			1						1				
一河三大夫	1	1							1			1						1				
一志奎大夫●	1	1	1						2			2	1				1					
一志加藤大夫●	1	1	1						1			1	1									
一志杉政大夫●	1	1	1						1			1	1									
一志杉村大夫●	1	1	1					2	1			3	1				2					

一志正住大夫●	1	1	1	1				1	1			1			1											
一志孫福大夫●	1	1	1					1				1		1												
一之木神主●	1		1		1							1		1												
一ノ鳥居七郎大夫	1	1							1			1									1					
伊東喜大夫	1	1							1			1		1												
伊村源大夫	1	1							1			1		1												
伊村儀輔光枚▼			1	1					1			0	1													
伊良胡館大夫	1	1							1			1									1					
稲木八八(兵)衛	1								1			1		1												
今井田大夫●	1	1	1					1				1		1												
今橋清大夫	1	1							1			1		1												
井村大夫	1	1							1			1		1												
井村傳大夫●	1	1	1						1			1									1					
井上伊左衛門	1									1		1									1					
岩出市大夫●	1	1	1	1				1	1			1	1	1												
岩田作大夫	1	1						1				1		1												
岩田彦左衛門	1								1			1									1					
岩戸弥一大夫●	1	1	1					1				1		1												
岩渕粟野大夫	1	1						1				1									1					
岩淵岡田大夫●	1	1	1					1				1			1											
岩淵中西大夫	1	1					1		2			3		3												
岩渕(淵)二頭大夫	1	1						2	2			4			1					3						
岩淵布谷大夫	1	1							1			1									1					
上田織部大夫	1	1							1			1									1					
上地大夫	1	1							1			1		1												
上部勘五郎大夫	1	1							1			1		1												
上村七郎大夫●	1	1	1						1			1		1												
宇治与右衛門	1								1			1		1												
宇治麻生(吉)口六大夫●	1	1	1			1			1			2		1						1						
内瀬大夫	1	1							1			1		1												
内山大夫●	1	1	1					1				1		1												
内山正大夫	1	1							1			1		1												
内山六大夫●	1	1	1					1				1		1												
内山八郎大夫●	1	1	1					1				1		1												
内海大夫●	1	1	1		1				1	1		3		1						2						
内海長大夫	1	1							1			1		1												
宇二館太郎大夫●	1	1	1						1			1		1												
宇仁田久大夫	1	1							1			1		1												
宇野源之丞	1								1			1		1												
梅谷松大夫	1	1							1			1		1												
梅津三郎大夫	1	1							1			1		1												
梅干館三郎大夫	1	1							1			1														1
浦村彦大夫	1	1							1			1									1					
上部左近●	1	1	1					1	1			2		1						1						
上部大夫	1	1						1				1		1												
上部因幡大夫●	1	1	1						1			1		1												
上部金吾大夫●	1	1	1							1		1								1						
上部榊原大夫●	1	1	1						1			1			1											
江川大夫●	1	1	1						1			1		1												
榎倉右近●	1		1					1				1		1												
榎倉数馬	1								1			1				1										
榎倉丹後●	1		1				1					1		1												
榎倉隼人	1								1			1		1												

榎倉修理(之)進●	1		1	1			1				3	1					2	1				
榎倉大夫●	1	1	1			2					2		1				1					
榎倉義大夫●	1	1	1					1			1		1									
榎倉式部大夫●	1	1	1			2		2			4		1				3					
老沼大夫	1	1				1					1						1					
扇館半大夫●	1	1	1	1		1		2			2	1	1				1					
大泉忠大夫	1	1							1		1		1									
大島兵大夫	1	1							1		1		1									
大世古森大夫●	1	1	1					1			1		1									
大田右近	1								1		1		1									
大田権大夫●	1	1	1				1				1		1									
大田吉郎大夫	1	1							1		1						1					
大竹昌大夫	1	1							1		1		1									
大西大夫●	1	1	1	1				4	1		4	1					3	1				
大西助大夫	1	1						1			1		1									
大主大夫●	1	1	1					2			2			2								
大主幸福大夫	1	1						1			1			1								
大主長左衛門	1							1			1			1								
大野忠大夫	1	1							1		1							1				
大橋又大夫●	1	1	1					1			1		1									
岡田大夫●	1	1	1				1				1			1								
岡田兵庫大夫●	1	1	1						2		2						2					
岡野善大夫	1	1						1			1							1				
岡村大夫●	1	1	1					1			1			1								
岡村三大夫●	1	1	1					1			1		1									
岡村又大夫●	1	1	1					1			1		1									
岡本大夫	1	1						1										1				
岡本西大夫●	1	1	1						1		1			1								
岡本豊田大夫●	1	1	1					1	1		2		1				1					
小川久大夫	1	1						3	1		4		3				1					
小川与(與)大夫●	1	1	1	1				2			1		1									
小岐須彦大夫	1	1							1		1		1									
小倉大夫●	1	1	1					1			1		1									
小倉四郎大夫	1	1							1		1						1					
小田吉大夫	1	1							1		1		1									
小田谷大夫	1	1					1	1			2			1			1					
小田林大夫	1	1						1			1		1									
小田権大夫●	1	1	1					1			1		1									
小田九郎大夫●	1	1	1					1			1		1									
小野田市大夫●	1	1	1						1		1		1									
奥田清大夫	1	1							1		1		1									
奥山大夫●	1	1	1					2			2		1					1				
尾崎雅樂	1					1					1			1								
尾崎式部●	1		1					2			2				1			1				
尾寄長左衛門	1								1		1		1									
尾崎大夫	1	1						1			1			1								
尾寄(崎)長大夫●	1	1	1					1	1		2						1	1				
尾崎(寄)河内大夫	1	1						2			2				1			1				
落合権大夫●	1	1	1					1	2		3		1				2					
御祓屋四郎大夫	1	1						1			1		1									
親井助大夫	1	1							1		1							1				
垣屋大夫●	1	1	1						2		2		1					1				
角田大夫●	1	1	1					1	2		2	5		2				3				

[illegible]

紀伊國幸福大夫●	1	1	1				1	1	1			3		1				2					
久志本神主●	1		1		4							4	3					1					
久志本権神主	1				1							1	1										
久野傳大夫	1	1					1		1			2	1					1					
久保大夫四郎	1	1						1	1			2	1					1					
久保丸井大夫●	1	1	1					2				2	1									1	
久保金二郎大夫	1	1					1					1			1								
久保与(與)五郎大夫●	1	1	1					1				1			1								
久保倉掃部●	1		1					1			1	2	1					1					
久保倉但馬●	1		1				1	1				2	1					1					
久保倉大夫●	1	1	1				1	2				3	1					2					
久保倉重大夫	1	1						1				1	1										
久保倉金吾大夫●	1	1	1					1				1	1										
久保倉二頭大夫	1	1						1				1						1					
久保田三郎大夫	1	1				1						1							1				
久留勘大夫	1	1							1			1	1										
工藤十大夫●	1	1	1						1			1			1								
工藤重大夫●	1	1	1						1			1						1					
熊鶴大夫●	1	1	1					4				4	1					2				1	
熊鶴三郎大夫●	1	1	1	1				1	1			1	1										
黒瀬大夫	1	1				1		1			1	3	1					1	1				
黒瀬左大夫	1	1							1			1	1										
黒瀬勘大夫●	1	1	1						1			1											1
黒瀬三頭大夫▼		1	1	1		1						0	1										
蔵田大夫	1	1						1				1	1										
桑原石大夫●	1	1	1						1			1	1										
慶徳主馬●	1		1					1				1	1										
慶徳大夫	1	1						1				1						1					
慶徳藤大夫●	1	1	1					1				1	1										
慶徳三良大夫●	1	1	1					1				1	1										
慶徳八良大夫	1	1				1						1						1					
慶徳亦右衛門大夫	1	1							1			1	1										
幸田半衛門	1							1				1	1										
幸田大夫●	1	1	1		1			2	1			4	1	1				2					
幸田源内大夫●	1	1	1					1				1	1										
幸田主計大夫●	1	1	1		1			1	1			3			1			2					
幸福出雲●	1		1				1					1	1										
幸福内匠▽			1	1				1				0											
幸福孫右衛門	1								1			1						1					
幸福大夫	1	1					1	1				2	1					1					
幸福彦大夫	1	1						1				1	1										
幸福数馬大夫	1	1					1					1	1										
幸福善五大夫	1	1							1			1	1										
幸福孫大夫●	1	1	1			1						1						1					
小島大夫	1	1							1		1	2			1			1					
小島治郎大夫	1	1									1	1			1								
小館久大夫	1	1							1			1						1					
小西大和大夫	1	1							1			1	1										
小禰宜大夫	1	1						1				1	1										
小林大夫●	1	1	1	1				2	1			2	1	2									
小林清大夫●	1	1	1					1				1	1										
小林忠大夫	1	1						1				1			1								
小杜市大夫	1	1							1			1						1					

小楽崎孫大夫	1	1					1			1		1							
児玉左大夫●	1	1	1				1			1						1			
五富利大夫	1	1					1			1		1							
五文字屋大夫●	1	1	1				1			1			1						
古森大夫●	1	1	1				1	1		2		2							
近藤長大夫●	1	1	1					1		1		1							
斎藤八大夫●	1	1	1					1		1		1							
坂 大夫●	1	1	1				1	1		2		1				1			
坂井大夫	1	1						1		1		1							
坂口大夫	1	1						1		1			1						
坂口伊大夫	1	1						1		1						1			
坂口長次大夫	1	1						1		1			1						
坂田与(與)次大夫●	1	1	1					2		2						1	1		
坂本莊大夫	1	1						1		1		1							
榊原大夫●	1	1	1					1	1	2		1	1						
榊間三大夫	1	1						1		1		1							
酒谷弥三大夫	1	1						1		1		1							
酒壺八郎大夫	1	1							1	1		1							
佐久目(月)大夫	1	1				1			1	2		1				1			
佐田長大夫	1	1							1	1		1							
佐竹半大夫	1	1							1	1	2						1		1
佐波与十大夫●	1	1	1						1	1							1		
佐野善大夫	1	1							1	1		1							
茂村伊大夫●	1	1	1						1	1	2	1				1			
七家又大夫	1	1							1	1		1							
柴山権大夫	1	1							1	1		1							
柴山大夫▼		1	1	1					1	0	1								
島田七郎大夫	1	1							1	1		1							
島田中藤左衛門	1								1	1		1							
清水奎大夫●	1	1	1					1		1						1			
庄門大夫	1	1							1	1						1			
人長館忠大夫	1	1							1	1		1							
杉井久兵衛	1								1	1		1							
杉(杵)木大夫	1	1						1	1	2		1					1		
杉木吉大夫●	1	1	1				1		1	3						2	1		
杉木権大夫●	1	1	1					1		1		1							
杉木宗大夫●	1	1	1	1				1	1	2						1			1
杉木(本)三郎大夫●	1	1	1					2	1	3		1				2			
杉原八大夫▼		1	1	1					1	0	1								
杉原丹藏大夫	1	1							1	1		1							
杉松大夫●	1	1	1					1	1	2		1	1						
杉松数馬▽			1	1				1		0									
杉松兵衛大夫▽		1	1	1				1		0									
杉村大夫	1	1							1	1		1							
杉村清大夫	1	1								1		1							
杉山林大夫	1	1					1		1	2		1		1					
筋向橋縫殿●	1		1					1		1						1			
筋向橋小林大夫●	1	1	1					1		1			1						
鈴岡大夫	1	1							1	1		1							
鈴木嘉大夫	1	1						1		1						1			
鈴木三大夫	1	1							1	1		1							
鈴木甚大夫●	1	1	1						1	1		1							
鈴木重大夫●	1	1	1					1		1		1							

鈴木宮大夫	1	1					1			1		1							
隅善大夫	1	1					1			1								1	
瀬川長大夫●	1	1	1					1		1		1							
世木吉左衛門	1								1	1		1							
世古口雙大夫(絶家)	1	1						1		1								1	
莊門大夫●	1	1	1				1			1		1							
曾祢二見大夫●	1	1	1				1			1		1							
高尾大夫	1	1					1			1							1		
高木大夫●	1	1	1	1				2		1	1	1							
高木次郎大夫	1	1					1			1		1							
高木平右衛門	1							1		1		1							
高崎善大夫	1	1						1		1		1							
高崎彦大夫●	1	1	1	1				2		1							1		1
高瀬宗大夫	1	1					1			1							1		
高田大夫●	1	1	1				1	1		2		1	1						
高田彦大夫	1	1						1		1		1							
高田因幡大夫●	1	1	1				1			1			1						
高田仁右衛門大夫	1	1					1			1		1							
高橋嘉大夫●	1	1	1					1		1		1							
高林彦大夫●	1	1	1		1			1	1	3		1					2		
高向辻大夫	1	1					1			1							1		
高向松大夫●	1	1	1				1			1		1							
高向二頭大夫●	1	1	1			1	1	1		3		1					2		
高向与三大夫●	1	1	1				1			1		1							
多気次郎兵衛●	1		1					1		1		1							
竹内七郎大夫	1	1						1		1		1							
田中蔵人●	1		1					1		1		1							
田附半大夫▽		1	1	1				1		0									
田中大夫	1	1					1			1		1							
田中奎大夫●	1	1	1					1		1		1							
田中七郎大夫	1	1						1		1		1							
田中福村大夫●	1	1	1					1		1							1		
谷 主水●	1		1				1			1		1							
谷 理左衛門	1						1			1							1		
谷 大夫●	1	1	1				1	1	1	3		1					2		
谷 一大夫●	1	1	1				1			1		1							
谷 一郎大夫●	1	1	1				1	1		2		1					1		
谷 兵部大夫●	1	1	1				1			1		1							
谷口次郎大夫	1	1						1		1		1							
谷倉大夫	1	1					1	1		2							1	1	
為田六右衛門	1						1			1			1						
為田大夫●	1	1	1	1				2		1	2	1					1		
為田源大夫	1	1					1			1		1							
為田権大夫	1	1						2		2		1					1		
為田助大夫	1	1						1		1							1		
為田右近大夫	1	1					1			1		1							
為田孫八大夫	1	1						1		1		1							
為田源右衛門大夫	1	1					1			1			1						
丹蔵与大夫●	1	1	1					1		1		1							
千萱大夫	1	1					1			1		1							
千萱吉祥▼			1	1			1			0	1								
千賀大夫●	1	1	1		1			2		3		1					2		
千賀金吾大夫●	1	1	1					1		1		1							

千賀八左衛門●	1		1				1				1		1						
逐沼大夫	1	1					1				1					1			
逐沼三大夫	1	1			1						1					1			
柘植喜大夫●	1	1	1					1			1		1						
辻 左京	1						1				1			1					
辻 大夫●	1	1	1				2	2			4			1			3		
辻 喜大夫●	1	1	1				2	1		1	4		1				2		1
辻田善大夫	1	1						1			1		1						
辻村大夫●	1	1	1				1	1			2					1	1		
辻村五郎大夫	1	1						1			1		1						
津田長大夫●	1	1	1					1			1		1						
槌屋九郎大夫	1	1					1				1						1		
堤 長兵衛●	1		1					1			1						1		
堤 大夫●	1	1	1	1			2	3	2		3	9		3			4		3
堤 左大夫●	1	1	1			1					1		1						
堤 長大夫 ●	1	1	1					1	1			2		1			1		
堤 林大夫(絶家)	1	1							1			1						1	
堤 彦大夫●	1	1	1					1				1		1					
堤 織部大夫	1	1	1	1				1	1			1	1				1		
堤 内山大夫●	1	1	1					1				1					1		
堤 三郎大夫	1	1						1				1		1					
堤 長福大夫●	1	1	1			1						1		1					
堤 長熊大夫●	1	1	1			1			1				1				1		
椿児大夫●	1	1	1					1				1					1		
椿叟大夫	1	1			1				1			2					2		
津村正大夫●	1	1	1						1			1		1					
出口信濃●	1		1					2				2		1			1		
出口忠大夫	1	1	1	1		1		1				1			1				1
遠山大夫●	1	1	1					1				1		1					
徳田大夫●	1	1	1					1			1	2		2					
徳田宗大夫	1	1							1			1		1					
徳屋喜大夫	1	1							1			1						1	
豊田大夫	1	1						1	1			2					2		
豊田五郎大夫●	1	1	1						1			1					1		
豊田椿叟大夫	1	1							1			1		1					
中井五郎大夫	1	1				1						1		1					
中井孫次大夫	1	1						1				1		1					
中井弥次大夫	1	1							1			1					1		
中川大夫	1	1						1				1						1	
中川喜大夫	1	1							1			1		1					
中川小大夫	1	1							1			1		1					
中川治大夫	1	1							1			1		1					
中川安大夫●	1	1	1					2	2			4		1			3		
中川三郎大夫●	1	1	1						1			1		1					
中北大夫●	1	1	1						2			2		2					
中倉七郎(良)大夫●	1	1	1		1			1				2		1			1		
中沢市大夫	1	1							1		2	3		1			2		
中沢喜左衛門	1										1	1						1	
中田大夫●	1	1	1				1	1	3			5		1			3	1	
中田孫大夫	1	1							1			1					1		
中田織部大夫●	1	1	1				1	2				3					2	1	
中津大夫●	1	1	1						1			1		1					
中津伊大夫	1	1					1					1		1					

[illegible]

西村大夫●	1	1	1					1	1			2		1				1							
西村長大夫●	1	1	1					1	2			3						3							
西山大夫	1	1						1				1						1							
錦谷大夫●	1	1	1					1				1						1							
二本杉大夫●	1	1	1					1				1		1											
二本松大夫	1	1						1				1			1										
二本松織部大夫●	1	1	1					1				1			1										
野依千右衛門	1								1			1							1						
野依弥三郎大夫	1	1						1				1		1											
野村金大夫●	1	1	1					1				1		1											
野村吉六大夫●	1	1	1					1				1		1											
野村四郎大夫	1	1							1			1		1											
白米右京●	1		1					1				1		1											
白米大夫	1	1							1			1						1							
白米庄大夫	1	1						1				1						1							
白米治大夫	1	1							1			1		1											
白米彦大夫▼		1	1	1					1			0	1												
白米石見大夫	1	1						1				1		1											
白米左近大夫●	1	1	1					1				1		1											
白米彦助大夫	1	1						1				1		1											
白米織部大夫●	1	1	1					1	1			2						2							
端館助大夫●	1	1	1						1			1		1											
橋 大夫次郎	1	1						1				1						1							
橋爪大夫	1	1						1				1		1											
橋爪藤大夫	1	1						1				1		1											
橋爪保大夫●	1	1	1						1			1		1											
橋爪孫大夫	1	1			1		1		1			3		1				2							
橋爪孫七大夫	1	1							1			1		1											
橋村主計●	1		1			1		1				2		1				1							
橋村治郎	1					1						1		1											
橋村大夫●	1	1	1				1					1			1										
橋村市大夫●	1	1	1			1						1		1											
橋村吉大夫●	1	1	1			1		2				3		1				2							
橋村久大夫●	1	1	1			1						1		1											
橋村八大夫●	1	1	1					1				1						1							
橋村右近大夫●	1	1	1				1					1		1											
橋村織部大夫●	1	1	1					1				1						1							
橋(槁)村内蔵大夫●	1	1	1			1		3				4						4							
橋村大蔵大夫●	1	1	1			1						1		1											
橋村帶刀大夫●	1	1	1					2				2		1				1							
橋村八郎大夫●	1	1	1				1					1			1										
橋村肥前大夫●	1	1	1			1						1		1											
橋村三郎右衛門大夫	1	1					1							1											
橋村三郎左衛門大夫	1	1						1				2						1							
橋本大夫●	1	1	1	1		1		2				2		2											1
橋本金大夫●	1	1	1						1			1		1											
橋本源大夫	1	1							2			2		1				1							
濱口理大夫	1	1									1	1							1						
林 大夫●	1	1	1					1				1						1							
林 刑部大夫●	1	1	1					1				1			1										
林 左近大夫●	1	1	1					2	1			3		1				2							
林 多門大夫●	1	1	1					1				1			1										
林 三部右(左)衛門大夫●	1	1	1					1				1			1										

原 大夫●	1	1	1			1					1		1						
祓屋大夫	1	1					1				1						1		
春木金大夫	1	1						1			1		1						
春木庄大夫●	1	1	1	1			2				1	1	1						
春木一頭大夫	1	1						1			1		1						
春木左門大夫	1	1				1					1				1				
阪田伊大夫	1	1						1			1						1		
檜垣越中●	1		1					1			1						1		
檜垣神主●	1		1			1			1	1	4						4		
桧垣左兵衛▼			1	1		1					0	1							
檜(桧)垣右京●	1		1			1			1		2						2		
檜垣二見大夫●	1	1	1			1					1		1						
東川宗大夫	1	1							1		1		1						
廣瀬左大夫	1	1								1	1		1						
廣田筑後●	1		1			1					1		1						
廣田大夫	1	1						1			1						1		
廣田幸満大夫	1	1						1			1						1		
廣田與三大夫●	1	1	1	1		2					1	1	1						
廣辻公文大内人	1							1			1		1						
深井大夫●	1	1	1					1			1				1				
福井出雲	1					1					1		1						
福井右京●	1		1					1			1						1		
福井帶刀●	1		1					2			2		1				1		
福井土佐●	1		1				1		1		2		1				1		
福井九兵衛●	1		1			1	1				2			1			1		
福井藤兵衛●	1		1			1				2	3		2				1		
福井孫六馬	1							1			1		1						
福井孫右衛門●	1		1	1				2			1						1		1
福井勘右工(衛)門●	1		1				1				1		1						
福井大夫●	1	1	1				1	1	1		1	4	2				2		
福井左門大夫●	1	1	1			1					1		1						
福井大炊大夫	1	1					1				1		1						
福井服部大夫	1	1				1			1		2			1			1		
福市味右衛門●	1		1					1			1		1						
中古福市大夫▼		1	1	1				1			0	1							
福島伊豆	1						1	1			2			1			1		
福島七之丞	1							1			1						1		
福島新之允	1						1				1		1						
福島大二郎(良)●	1		1	1			1	1	1		2	1	1				1		
福島八左工(衛)門●	1		1				1				1						1		
福島大夫●	1	1	1				2				2			2					
福島文大夫●	1	1	1				2				2						1	1	
福島掃部大夫	1	1								1	1								1
福島(島)鳥羽大夫●	1	1	1					1			1		1						
福島(山島・嶋・島)與(与)村大夫●	1	1	1					2			1	3					2		1
福島新丞大夫▼		1	1	1			1				0	1							
福島御塩焼大夫●	1	1	1				1				1			1					
福田大夫●	1	1	1				1	2			3			2			1		
福田万大夫	1	1					1				1			1					
福田御鑰大夫	1	1						1			1			1					
福田与郎大夫	1	1						1			1						1		
福田与五郎大夫	1	1						1			1			1					
福村善大夫	1	1						1			1		1						

福本大夫●	1	1	1				3	1			4		2			2				
福本善大夫	1	1						1			1	1								
藤井大夫	1	1						1			1	1								
藤井源大夫	1	1						1			1	1								
藤井八郎大夫●	1	1	1		1			1			2	1		1						
藤木大夫●	1	1	1					1			1					1				
藤木神主▼			1	1				1			0	1								
藤田大夫●	1	1	1					3			3	2	1							
藤田長大夫	1	1						1			1		1							
藤田與大夫	1	1						1			1	1								
藤田治郎大夫	1	1						1			1	1								
藤本大夫●	1	1	1					1			1	1								
藤本八大夫	1	1					1				1					1				
藤本勘兵大夫●	1	1	1					1		1	2		1			1				
藤本八郎大夫●	1	1	1				1				1	1								
藤原大夫●	1	1	1			1	1			1	3		1			1			1	
藤原甚大夫	1	1	1	1			1	1			2	1				1				
藤原勘々由大夫	1	1				1					1					1				
二俣中津大夫	1	1					1				1	1								
二俣中西大夫	1	1					1				1	1								
船木市大夫	1	1						1			1	1								
古川豊助大夫	1	1						1			1	1								
古川善大夫	1	1						1			1	1								
瓶子大夫●	1	1	1				2				2	1				1				
前野喜大夫●	1	1	1				1	2			3	1				2				
前野義大夫	1	1					1				1					1				
前野矢畑大夫●	1	1	1				1				1	1								
正住大夫●	1	1	1				1				1		1							
正住善之丞	1						1				1	1								
正住傳大夫	1	1				1					1	1								
益大夫●	1	1	1			1					1	1								
益善大夫●	1	1	1					1			1	1								
益田林大夫	1	1						1			1					1				
増山治郎大夫	1	1						1		1	2	1				1				
馬瀬大夫●	1	1	1				1				1	1								
松井佐(左)大夫●	1	1	1				2				2	1				1				
松尾徳左衛門	1					1					1					1				
松尾大夫●	1	1	1			1					1	1								
松尾善大夫●	1	1	1				1				1	1								
松尾治郎大夫●	1	1	1			1					1	1								
松木神主	1								1		1	1								
松木(本)雅楽之助●	1		1				1				1					1				
松木弥三大夫	1	1						1			1					1				
松木(本)館八郎大夫●	1	1	1				1	2			3	1				2				
松木(本?)坂井大夫●	1	1	1		1						1	1								
松下勘大夫	1	1						1			1	1								
松田?▽			1	1			1				0								1	
松田宗左衛門●	1		1					1			1	1								
松田次郎左衛門	1						1				1					1				
松田大夫●	1	1	1					1		1	2	1				1				
松田三大夫●	1	1	1				1				1	1								
松田長大夫●	1	1	1				1			1	2	1				1				
松田左近大夫	1	1					1				1	1								

松田与(與)吉大夫●	1	1	1	1	1			4	2			5			1			4					2
松田御炊▼			1	1					1			0	1										
松田三郎四郎大夫●	1	1	1					1				1			1								
松葉七郎大夫●	1	1	1					1				1		1									
松葉次(二)郎大夫●	1	1	1					2				2		1				1					
松村宗大夫●	1	1	1						1			1		1									
松村長大夫●	1	1	1					1				1						1					
松村藤大夫▼		1	1	1								1	0	1									
松室善大夫●	1	1	1			1			1			2		1				1					
松室与(與)一大夫●	1	1	1					2				2		1				1					
松室與三大夫●	1	1	1					1				1		1									
松本大夫	1	1						1		1		2		1									1
的場久大夫	1	1										1	1		1								
丸井清大夫●	1	1	1						1			1		1									
丸岡宗大夫●	1	1	1					1				1		1									
丸林大夫●	1	1	1					2				2		1				1					
丸林六大夫▼		1	1	1				1				0	1										
三頭文左衛門	1							2				2			1			1					
御塩館大夫●	1	1	1						1			1						1					
御塩弥三大夫●	1	1	1					1	1			2		1				1					
御炊大夫●	1	1	1	1		1	1	3	1			5		1				2	1		1		1
御炊左大夫	1	1						1				1		1									
御炊度會篤忠▼			1	1					1			0	1										
水溜吉郎大夫●	1	1	1						1			1		1									
三谷勝大夫	1	1						1				1		1									
三谷彦大夫	1	1				1						1		1									
三日市大夫次郎●	1	1	1				2	6	2			5		2	2			5					
三日市兵部大夫	1	1						1				1			1								
三日市与(與)三大夫●	1	1	1	1				2				1	1					1					
南倉大夫	1	1					1					1			1								
南倉左衛門	1						1					1					1						
箕曲甚大夫	1	1						1				1		1									
御筈大夫	1	1							1			1							1				
三村大夫●	1	1	1					1				1						1					
三村權助大夫(絶家)	1	1						1				1									1		
宮井将監●	1		1		1			1	1			3		1				2					
宮熊作大夫	1	1							1			1						1					
宮後神主●	1		1		1							1		1									
宮後逐沼大夫●	1	1	1					1				1			1								
宮後三頭大夫●	1	1	1			2		3				5		2				3					
宮田大夫	1	1							1		1	2							2				
向井谷瀬大夫	1	1							1			1		1									
村井左大夫	1	1							1			1		1									
村井忠大夫	1	1							1			1		1									
村田三大夫	1	1							1			1							1				
村田次郎大夫	1	1						1				1						1					
村田治郎大夫	1	1						1				1		1									
村西宗大夫	1	1							1			1		1									
村松大夫●	1	1	1					1	1			2		2									
村松儀大夫	1	1							1			1		1									
村松長大夫？	1	1								1		1											1
村松一師大夫	1	1						1				1						1					
村山掃部	1		1	1				1	2		1	3						1			1		1

村山大夫●	1	1	1				1		1		2		1				1					
村山久大夫	1	1							2		2						2					
森 左兵衛	1									1	1							1				
森 大夫	1	1							1		1	2					1	1				
森 平大夫	1	1				1					1		1									
森 与大夫●	1	1	1					1			2	3					2					1
森 嶋(島)治郎●	1		1					1				1		1								
森田太郎大夫	1	1							1			1		1								
森本大夫	1	1							1			1						1				
安田重大夫●	1	1	1						1			1										1
安田傳大夫	1	1						1				1		1								
安山治大夫	1	1							1			1		1								
矢野大夫	1	1					1					1							1			
矢野弥三大夫	1	1						1				1					1					
養父内勘大夫	1	1							1			1		1								
大和幸福大夫●	1	1	1					1				1					1					
山川八大夫●	1	1	1					1	1			2		1			1					
山口角大夫	1	1						1			1	2						1				1
山口権大夫	1	1							1			1		1								
山倉大夫●	1	1	1					1	1			2		1			1					
山崎重大夫	1	1							1			1		1								
山田大路三大夫	1	1						1				1		1								
山畑利大夫	1	1							1			1		1								
山原右大夫	1	1							1			1										1
山村大夫●	1	1	1						2			2		2								
山本大学	1							2				2		1			1					
山本源大夫	1	1							1			1						1				
山本左大夫	1	1								1		1					1					
山本重大夫●	1	1	1	1				2				1	1	1								
山本長大夫	1	1					1		2			3					2			1		
山本孫大夫	1	1							1			1		1								
山本利大夫	1	1							1			1						1				
山本市郎大夫●	1	1	1						1			1		1								
結谷大夫	1	1						1				1		1								
結城弥三大夫●	1	1	1						1			1		1								
横橋大夫	1	1						1	1			2		1			1					
横橋鎰谷大夫●	1	1	1	1				1	1			1	1	1								
横橋檜垣神主●	1		1		1							1					1					
吉澤大夫●	1	1	1					1				1		1								
吉澤栗野大夫●	1	1	1					1				1					1					
吉澤重郎大夫	1	1						1				1		1								
吉田大夫	1	1							1			1		1								
龍大夫●	1	1	1				1	2				3		2			1					
龍松大夫	1	1						1	1			2		1			1					
龍松善大夫	1	1						1				1						1				
若井源大夫	1	1							1					1								
綿谷大夫●	1	1	1				1		1			1			1		1					
綿谷重大夫	1	1							1			1		1								
綿谷彦大夫	1	1						1				1					1					
綿谷主税大夫	1	1						1				1		1								
綿谷弥三大夫	1	1							1			1		1								
綿屋大夫	1	1							1			1			1							

参考:伊勢神宮125社

(伊勢)神宮が管理する宮社が125社あり、俗に神宮125社と呼ぶ。内外両正宮に別宮14、摂社43、末社24、所管社42。伊勢市だけでなく、度会郡大紀町、玉城町・度会町、志摩市磯部町、松阪市、鳥羽市、多気郡多気町の4市2郡に分布する。

内宮	皇大神宮		内宮
内宮別宮	荒祭宮(式内社)	あらまつり	内宮域内
内宮別宮	風日祈宮	かざひのみ	内宮域内
内宮別宮	月讀宮(式内社)	つきよみ	伊勢市中村町
内宮別宮	月讀荒御魂宮(式内社)	つきよみあらみたま	伊勢市中村町月讀宮境内
内宮別宮	伊佐奈岐宮(式内社)	いざなぎ	伊勢市中村町月讀宮境内
内宮別宮	伊佐奈弥宮(式内社)	いざなみ	伊勢市中村町月讀宮境内
内宮別宮	倭姫宮	やまとひめ	伊勢市楠部町
内宮別宮	滝原宮(式内社)	たきはら	度会郡大宮町大字滝原
内宮別宮	滝原竝宮	たきはらならび	度会郡大宮町大字滝原瀧原宮境内
内宮別宮	伊雑宮(式内社)	いざわ	志摩市磯部町大字上之郷
内宮摂社	津長神社	つなが	伊勢市宇治今在家町 旧林崎文庫そば
内宮摂社	大水神社	おおみず	伊勢市宇治今在家町 旧林崎文庫そば
内宮摂社	朝熊神社	あさくま	伊勢市朝熊町
内宮摂社	朝熊御前神社	あさくまみまえ	伊勢市朝熊町朝熊神社域内
内宮摂社	川原神社	かわら	伊勢市佐八町
内宮摂社	園相神社 2 座	そない	伊勢市津村町
内宮摂社	宇治山田神社	うじようだ	伊勢市中村町
内宮摂社	大土御祖神社	おおつちみおや	伊勢市楠部町
内宮摂社	国津御祖神社	くにつみおや	伊勢市楠部町
内宮摂社	多岐原神社	たきはら	度会郡大宮町大字三瀬川
内宮摂社	湯田神社 2 座	ゆた	度会郡小俣町湯田
内宮摂社	棒原神社 2 座	すぎはら	度会郡玉城町上田辺
内宮摂社	坂手国生神社	さかてくなり	度会郡玉城町上田辺
内宮摂社	狭田国生神社	さたくなり	度会郡玉城町佐田
内宮摂社	朽羅神社	くちら	度会郡玉城町原
内宮摂社	奈良波良神社	ならはら	度会郡玉城町宮古
内宮摂社	田乃家神社	たのえ	度会郡玉城町矢野
内宮摂社	田乃家御前神社	たのえみまえ	度会郡玉城町矢野田乃家神社同座
内宮摂社	鴨神社 2 座	かも	度会郡玉城町山神
内宮摂社	蚊野神社	かの	度会郡玉城町蚊野
内宮摂社	蚊野御前神社	かのみまえ	度会郡玉城町蚊野蚊野神社同座
内宮摂社	久具都比賣神社 3 座	くぐつひめ	度会郡度会町上久具
内宮摂社	堅田神社	かただ	度会郡二見町大字江
内宮摂社	江神社	え	度会郡二見町大字江
内宮摂社	神前神社	こうざき	度会郡二見町大字松下
内宮摂社	粟皇子神社	あわみこ	度会郡二見町大字松下
内宮摂社	御船神社	みふね	多気郡多気町大字土羽
内宮末社	川合神社	かわあい	伊勢市宇治今在家町大水神社同座
内宮末社	熊淵神社	くまぶ	伊勢市宇治今在家町大水神社同座
内宮末社	新川神社	にいかわ	伊勢市宇治今在家町津長神社同座
内宮末社	石井神社	いわい	伊勢市宇治今在家町津長神社同座
内宮末社	鏡宮神社	かがみのみや	伊勢市朝熊町
内宮末社	加努弥神社	かぬみ	伊勢市鹿海町
内宮末社	那自賣神社	なじめ	伊勢市中村町宇治山田神社同座
内宮末社	葭原神社	あしはら	伊勢市中村町月讀宮奥

内宮末社	宇治乃奴鬼神社	うじのぬき	伊勢市楠部町大土御祖神社同座
内宮末社	葦立弓神社	あしだて	伊勢市楠部町国津御祖神社
内宮末社	鴨下神社	かもしも	度会郡玉城町勝田
内宮末社	小社神社	おごそ	度会郡玉城町小社曾根
内宮末社	津布良神社	つぶら	度会郡玉城町積良
内宮末社	荒前神社	あらさき	度会郡二見町大字松下神前神社同座
内宮末社	許母利神社	こもり	度会郡二見町大字松下神前神社同座
内宮末社	牟弥乃神社	むみの	多気郡多気町大字土羽御船神社同座
内宮所管社	御酒殿	みさかどの	内宮域内
内宮所管社	御稻御倉	みしねのみくら	内宮域内
内宮所管社	由貴御倉	ゆきのみくら	内宮域内
内宮所管社	滝祭神	たきまつりのかみ	内宮域内(石畳)
内宮所管社	興玉神	おきたまのかみ	内宮域内(石畳)
内宮所管社	宮比神	みやびのかみ	内宮域内(石畳)
内宮所管社	屋乃波比伎神	やはひきのかみ	内宮域内(石畳)
内宮所管社	四至神	みやのめぐりのかみ	内宮域内(石畳)
内宮所管社	大山祇神社	おおやまつみ	内宮域内神宮司庁脇
内宮所管社	子安神社	こやす	内宮域内神宮司庁脇
内宮所管社	饗土橋姫神社	あえどはしひめ	伊勢市宇治今在家町 旧林崎文庫そば
内宮所管社	御塩殿神社	みしおどの	度会郡二見町大字荘
内宮所管社	神麻績機殿神社(式内社)	かんおみはたどの	松阪市井口中町漕代そば
内宮所管社	神麻績機殿神社 末社 8 社	数に数える	松阪市井口中町神麻績機殿神社境内
内宮所管社	神服織機殿神社(式内社)	かんはとりはたどの	松阪市大垣内町 漕代そば
内宮所管社	神服織機殿神社 末社 8 社	数に数える	松阪市大垣内町神服織機殿神社境内
伊雑宮所管社	佐美長神社(式内社)	さみなが	志摩郡磯部町大字恵利原
伊雑宮所管社	佐美長御前神社 4 社	さみながみまえ	志摩郡磯部町大字恵利原佐美長神社域内
瀧原宮所管社	若宮神社	わかみや	瀧原宮域内
瀧原宮所管社	長由介神社	ながゆけ	瀧原宮域内
瀧原宮所管社	川島神社	かわしま	瀧原宮域内長由介神社同座

外宮	豊受大神宮		外宮
外宮別宮	多賀宮(式内社)	たかのみや	外宮域内
外宮別宮	土宮	つちのみや	外宮域内
外宮別宮	風宮	かぜのみや	外宮域内
外宮別宮	月夜見宮	つきよみのみや	伊勢市宮後町
外宮摂社	度会国御神社(式内社)	わたらいくにみ	外宮域内
外宮摂社	山末神社	やまずえ	外宮域内宮崎文庫先
外宮摂社	度会大国玉比賣神社	わたらいおおくにたまひめ	外宮域内宮崎文庫前
外宮摂社	河原淵神社	かわらぶち	伊勢市船江1
外宮摂社	御食神社	みけ	伊勢市神社港
外宮摂社	高河原神社	たかがわら	伊勢市宮後町月夜見宮域内
外宮摂社	志等美神社	しとみ	伊勢市辻久留1
外宮摂社	清野井庭神社	きよのいば	伊勢市辻久留1
外宮摂社	大河内神社	おおこうち	伊勢市辻久留1志等美神社域内
外宮摂社	草奈伎神社	くさなぎ	伊勢市常盤町
外宮摂社	大間国生神社 2 座	おおまくなり	伊勢市常盤町
外宮摂社	田上大水神社	たのえおおみず	伊勢市藤里町 宮崎文庫先
外宮摂社	田上大水御前神社	たのえおおみずみまえ	伊勢市藤里町 宮崎文庫先田上大水神社
外宮摂社	小俣神社	おばた	度会郡小俣町裏町
外宮摂社	河原神社	かわら	度会郡御薊村大字新開
外宮摂社	宇須乃野神社	うすのの	度会郡御薊村大字高向
外宮末社	大津神社	おおつ	外宮域内
外宮末社	伊我理神社	いがり	外宮域内宮崎文庫前
外宮末社	井中神社	いなか	外宮域内宮崎文庫前伊我理神社域内
外宮末社	志宝屋神社	しおや	伊勢市大湊町
外宮末社	打懸神社	うちかけ	伊勢市辻久留1志等美神社域ない
外宮末社	毛理神社	もり	度会郡御薊村大字新開河原神社域内
外宮末社	縣神社	あがた	度会郡御薊村大字高向宇須乃野神社域内
外宮末社	赤崎神社	あかさき	鳥羽市鳥羽4
外宮所管社	御酒殿	みさかどの	外宮域内
外宮所管社	上御井神社	かみのみいの	外宮域内
外宮所管社	下御井神社	しものみいの	外宮域内
外宮所管社	四至神	みやのめぐりのかみ	外宮域内(石畳)

別宮	「わけみや」の意味で、神宮の社宮のうち正宮に次いで尊いとされる。
摂社	『延喜式神名帳』に記載されている神社(正宮、別宮を除く)を摂社とする。 定義では摂社は全て式内社となるが、戦国時代にほぼすべてが廃絶となり、江戸時代の寛永年間(1630 年代)から明治初頭(1870 年代)にかけて復興されたため、式内社の比定地とされる場合がある。
末社	『延暦儀式帳』に記載されている神社(正宮、別宮、摂社を除く)を末社とする。
所管社	正宮・別宮・摂社・末社以外の神社を所管社とする。

○延喜式神名帳(えんぎしき じんみょうちょう)

延長 5 年(927 年)にまとめられた『延喜式』の巻九・十のことで、当時「官社」とされていた全国の神社一覧である。延喜式神名帳に記載された神社を「延喜式の内に記載された神社」の意味で延喜式内社、または単に式内社(しきないしゃ)、式社(しきしゃ)といい、一種の社格となっている。

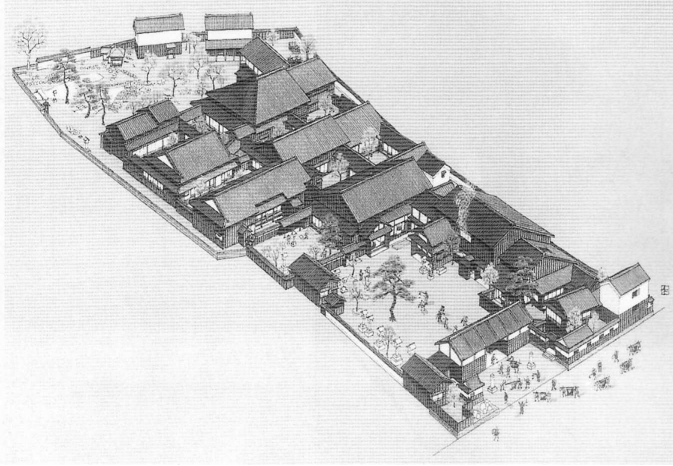
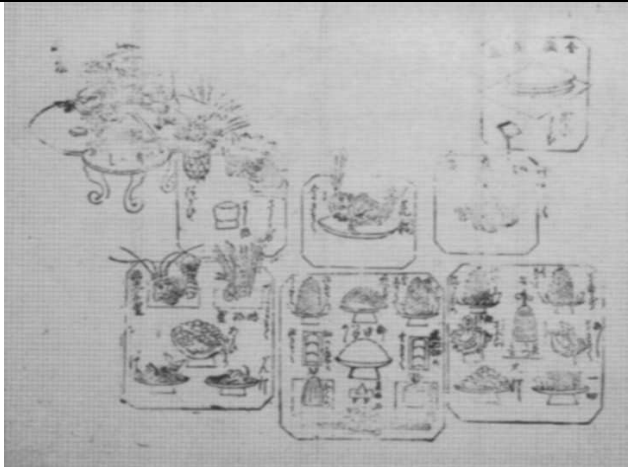
御師のおもてなし

1. 廻檀	
廻檀	御師の家来(代官・手代・先達)が年2～3回、全国各地の檀家廻りをし、初穂料を得ていた。 大夫が代替わりの時などは家来4人、下男一人で御神木箱、御祓櫃、打物、長柄傘、雨具籠を持たせ、大夫は乗り物に乗るような行列の規模で廻檀を行っていた。
御祓大麻の配布	その時、御祓大麻＝御祓(おはらい、剣先祓、千度・五千度・万度の御祓箱)を配布。大麻は「おおぬさ」とも呼び、本来は祓いに用いる用具のことで、願主の要請により御師が祓いを行い、その証として大麻を和紙に包んで願主に届けたのが御祓大麻である。現在は神宮が直接、配布している神札を神宮大麻(頒布大麻)と呼ぶ。 剣先祓 紙を剣先型に折り、中に串状の細い木に細く断った上質の紙(ぬさ)を巻きつけた御蕊を包んだもの 御祓箱 貴族や大名などの特別な檀家に授けられたもので、祓詞を十人で1回奏上した時を百回と数え、さらに多くの御師が何遍となく奏上して千度・五千度・万度としていた。箱から出して神棚にお祀りしたので木箱は不要になったことから、要らなくなったものを捨てることを「おはらいばこ」というようになった。
伊勢講	参宮費用の積み立てを教示した。 伊勢講田(いせこでん)神明講田(しめこだ)という講員共有の田畑からの収入を充てることも指導した。この地は不測の事態が発生しても差し押さえられることはなかった。 講を組んだ仲間から数人の代表が参宮する「代参」を行う。 参宮にかかる費用は「為替(かわし)」で送金した。
旅のアドバイス	旅のアドバイスをした
御伊勢宿	廻檀の時に御師が宿泊するところを御伊勢宿と呼び、各地に設けられていた。 御祓や土産の保管場所にもなっていた

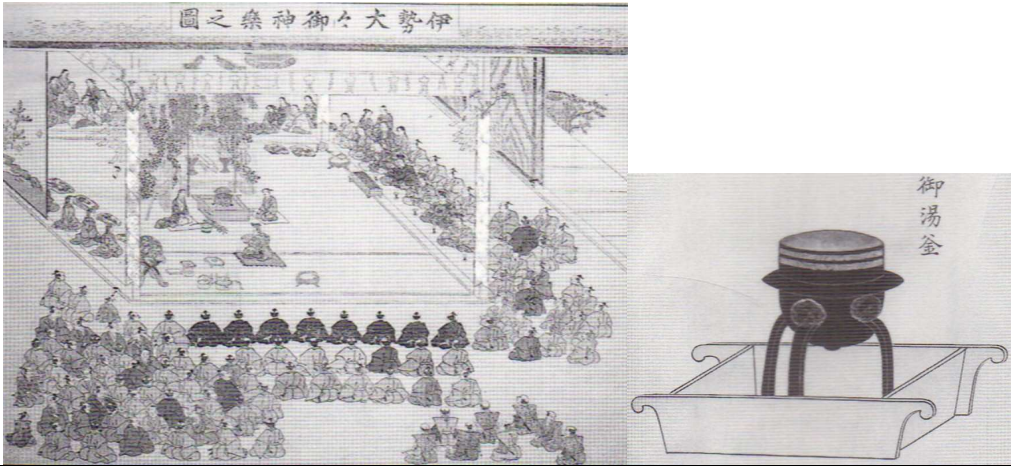
土産	伊勢暦	他の暦に比べて正確であり、農事の便も考慮して八十八夜や二百十日なども記載されていたために農村部で重宝された。 伊勢暦は毎年、祭主藤波家より朝廷に依頼して、土御門家より暦の写本(官暦)を受け、それに宇治と山田の陰陽師が考えたところを加えて11月までに幕府に発行許可をもらって版木印刷したもの。
薬		萬金丹:野間・小西・山原・岩城の4家 治効圓(小児薬):小西家 梅毒薬:はら屋 飯高郡丹生・多気郡射和・・・水銀の産地
伊勢白粉		(おしろい):はら屋 飯高郡丹生・多気郡射和・・・水銀の産地
海産物	熨斗鮑	(のし-あわび)鳥羽藩より買入し伊勢で加工
	小貝醬	志摩産
	干し栄螺	(さざえ)志摩産
	真珠	禁裏・大名へ
	干し鯉	熊野産
	鰯	(ぼら)なよし:近国は生魚、遠国はからすみ
	鮫のたれ	志摩産
	干し魚	あじ・さば
	するめ	
	数の子	他国産
	若芽	(わかめ)坂手島産は上等
	ひじき	志摩宿浦産は上等
	青海苔	神前浦産は上等、宮川下流産
	あまのり・麩海苔	志摩産
	昆布	他国産
	伊勢海老	
衣類	反物	薄物・厚物
	帯	薄板帯・普通板帯・厚板帯
	足袋	他国にない絹糸さし、綾さし、数寄屋さし
	油単(ゆたん)	1. ひとえの布や紙に油をしみ込ませたもの。湿気や汚れを防ぐため、調度や器物の覆いまたは敷物・風呂敷などに用いた。 2. たんす・長持(ながもち)などを覆う布。ふつう、木綿で作られ、定紋や唐草などを
日用品	箸	田丸箸:竹製漆塗、利久箸:宇治産
	櫛	黄楊櫛:岡本町産
	扇子	
	小刀・針	河崎町産
	紙たばこ入れ	多気郡稲木村 木村壺屋池部氏、 同明星村 堀木氏創製の擬革紙を使用
	墨	奄芸郡白子村産
器物	春慶塗(伊勢春慶)	重箱、銚子、枕重箱、丸盆、四方額など八日市場町大主家
	玩具	
	物指	
農産物	干瓢	高向村産
	伊勢茶	宮川上流産、飯高郡河俣産は上等
	紙	杉原紙、鳥の子紙
その他嘉例状		檀家に渡す挨拶状:美濃紙に木版刷り

2. 参宮道中の旅	
旅費	代参者は御師に旅費を納める
道中	御師の手代などが道中の世話をする 御師の契約宿「講宿」に宿泊

3. 伊勢での参詣	
1週間程度か? 支払いは御師に任せられ、お金のことを気にせず参宮した。(只と勘違い?)	

迎え	宮川に御師が運営した無料の渡し船「御馳走舟」年中無休があった。 参宮客が宮川を渡ると中川原。建ち並ぶ茶屋や旅籠の中で担当御師の看板のある店で講の名前を告げると、御師邸に知らせが行く。 迎えが来るまでは酒や食事が振る舞われるが料金は取らない。 御師の手代が迎えに来ると、籠や馬に乗せて御師邸へ案内される。赤い毛氈を敷いた駕籠を人数分用意して、荷物の運搬のために紅白の手綱を付けた馬も用意された。 高額な奉納金を支払った参詣者には六軒(松阪市)や明野(小俣町)あたりまで、駕籠を待機して送迎することもあった。		
豪華な宿泊	檀家の参宮者に宿泊の便宜を図った。←有力な御師の邸宅は豪壮な建物であった。 例) 三日月大夫次郎邸(現、伊勢税務署と津地方検察庁)総面積 1,800 坪、建物の総床面積 800 坪。客室は5棟に分かれて建っていて、4畳から16畳の部屋が全部で32室、63畳の大広間、畳を横に敷き詰めた1間の廊下、30畳ほどの神楽殿があった。 1日100人近くが宿泊できた。  三日月大夫次郎邸		
到着	到着すると、無事到着を祝って簡単な食事、風呂に入って身を清め、月代(さかやき)を剃って髪を結い直す。		
挨拶	袴で正装した手代を引き連れ、衣冠を正した御師の挨拶(奉納金の高低による区別はなかった) 酒や菓子折りが出される		
寝具	羽二重(縦糸・横糸に良質の撚(よ)りのない生糸を用いて、多く平織りとした後(あと)練りの絹織物。肌触りがよく、つやがある。礼服や羽織・羽織裏・胴裏地などに用いる)・緞子(どんす。縹子(しゅす)地に同じ縹子の裏組織で文様を織り出した絹の紋織物もの)の布団。 普段は木綿ふとんで寝ている人たちには夢心地だったであろう		
食事	 豪華な食事: 金銀の大盃が回されて、酒もふんだんに(飲み放題)出た。		
献立例1)	一の膳	皿	独活(うど)の千切り、革茸/とさかのり/さよりの糸造り紅酢和え
		壺	磯物と銀杏、
		/小平皿	粒山椒と花塩(花型の焼き塩)、
		椀	松露(海辺の松林に生える茸)とあられ豆腐の味噌汁(あられ豆腐: 豆腐を細かく刻んでザルに入れて振って、角を丸くしたもの。)

		お茶碗	ご飯
	二の膳	白木台	紅寒天/肴/青磯草(ねりからしで食する)
		籠	大根/かちぐり/干菓子
		椀	鯛のすましに山椒をあしらった汁
	三の膳	白木台1	伊勢海老(一匹まるごと)
		白木台2	鶴(2,3切れの鶏肉の切り身に鶴の羽のような飾りをあしらったもの)
	四の膳	椀	鯛の卵とジュンサイのすまし
		皿	鯛の塩焼き(一匹まるごと)
		猪口	ウルカの塩辛
	追加の膳	小鉢	生麩のすり生姜添え
		小鉢	小鯛の酢締めのボウフウ添え
		皿	味噌を敷いた上に載せられた松茸/伊勢海老/湯葉
		皿	伊勢海老(一匹まるごと)
		椀	すまし
		箱	「二見浦」という干菓子
例2)1日目	一の膳	硯蓋の口取り	鮑・鯛・九年母・海老・芋・昆布・蒲鉾・
		大鉢	大鯛
		皿	膾(なます)
		壺	2品
		椀	汁・御飯
	二の膳	小皿	刺身
		猪口	酢味噌
		椀	汁(九年母と魚)
		平椀	鮑・青菜・凍み豆腐
		皿	焼き魚
2日目	一の膳	重箱	鮓(すし)・昆布・魚の子漬
	二の膳	大鉢	鯛
		大皿	生鮑
		井	ひしこ鯛に大根からみ
		平	青菜にうどん
		皿	うどんの薬味: 陳皮(ちんぴ)・唐辛子・胡椒包み・辛み大根
	お茶		お茶と菓子皿に柿
例3)	一の膳	膾(なます)	金柑・大根・さより・木耳(きくらげ)・防風(セリ科の多年草)・栗
		煮物	たこ・ぜんまい・銀杏
		割物	赤貝
		煮染	
		汁	豆腐・蒟(ふき)・青味
		焼物?	鴨の羽盛りと鮭
	二の膳	刺身	海老の舟盛り
			亀足・蒲鉾
		杉焼	山の芋・椎茸・うど
		汁	あいなめ
		大猪口	青あえ・うど・いか+塩山椒
	三の膳	焼物?	梅干し・貝焼・鮑
		刺身	入り酒酢と鯉
		香物	奈良漬・大根
		春笋(こと)	筍(たけのこ)・花芋・うど・蓮根
		水の物	伊勢海苔・牡蠣・とさか・かぶろぼね
		お重	梅麩
		すし鯛	こけらとたで
		酒吸物	白魚・海苔
		吸物	鯛と山椒の芽
		なし物	(塩辛)味噌漬・とこぶし
		汁	昆布と恵比須鯛
		大鉢	うどで牡丹を形どったもの
	ㄨ		うどん・豆腐の吸物

御神楽を奏する	神宮は私幣禁断で公儀(天皇と一部の皇族)以外の奉賽(ほうさい)は受け付けなかったため、参宮者は御師に依頼して御師の館内の神楽殿で神楽を上げて神宮へ奉賽した。 必ずしも奏行する必要はなかった。大々神楽、大神楽、小神楽の3種があった。 大々神楽は2～4時間ほどで75両(秋田換算で560万円→大:56万円、小:5.6万円?) 神楽は大釜で湯を立て、巫女や神職が榊の枝で湯を振り撒く「湯立て神楽あるいは霜月(11月)神楽」だった。 御神楽中は正装するために羽織・袴を借りた。 神楽殿を併設している御師邸は神楽奉納に熱心な東国の檀家を持つ御師が主で、内宮は4軒、外宮は20軒ほどで少なく、その他のほとんどは必要があれば広間で行ったり、他の御師の神楽殿を借りた。西日本の檀家は神楽奉納は少なかった。 神楽職人は御師とは別で、内宮は楠部、外宮は町民中から神楽をあげるたびに御師邸に来ていた。 
参詣	馬に乗せ、多くの人が付き従い、外宮・内宮を参詣した。
観光案内	両宮参拝、朝熊・二見などの名所旧跡 駕籠に乗り手代が案内した。 昼食は酒付三～五段重箱で、御師邸から休憩所の茶屋に運ばれた。 古市での遊興
土産 土産の持ち帰り	土産は御師が回檀で持って行った伊勢名物などであった。 買った土産は宅配するシステムがあった
帰路	御師から参詣に参加できなかった講員の分も含んで御祓が渡され、酒、盃、菓子などを土産として持たせた。これらの土産とともに手代や小僧が重箱を背負って宮川まで運び、一献を酌み交わし歓送した。 御師のネットワークで旅を続けることができた。 回檀の時に御師が宿泊するところを御伊勢宿と呼び、各地に設けられていた。 参宮後、熊野や奈良・京都・大坂・四国の金毘羅宮や西国33ヵ所巡礼まで足を延ばす人もいて、2～3ヵ月に及ぶこともあった。

参考文献

H15年 伊勢市教育委員会 編集 伊勢市立郷土資料館 第13回特別展図録「伊勢の町と御師～伊勢参宮を支えた力」

1983年西垣晴次著「お伊勢まいり」岩波新書

2006年 伊勢商工会議所 編集発行「検定 お伊勢さん 公式テキストブック」伊勢文化舎

H18年福井正身 出版「山田の歴史(古代～近世)」米川印刷所

2007年 NHK 知るを楽しむ 歴史に好奇心「お伊勢参り ニッポン観光事始め」金森敦子

以 上